令和５年度

区民アンケート報告書

（子育て世帯向け）

大阪市東住吉区役所

目次

■アンケート概要 1
1．回答者の属性 3
2．東住吉区の住みやすさ・魅力について 9
3．子育て情報の広報について 19
4．健康づくりについて 26
5．「子ども食堂」などの子どもの居場所について 32
6．親子サロンについて 41
7．子育てについて 49

■アンケート概要

1）調査の目的

区の施策・事業に対する、より多くの多様な区民の意見やニーズ、施策・事業の成果・評価などに関する情報を収集・分析し、施策・事業の企画・立案から実施など全般に渡る意思決定に役立てることを目的とする。

2）調査方法

調査対象：住民基本台帳から無作為に抽出した中学生以下の東住吉区住民のお子さま（外国籍住民を含む）
1,500 名の保護者様

調査期間：令和５年８月７日(月)～令和５年８月21日(月)

調査方法：調査票の送付による配布と返信封筒による回収及び WEB による回答

3）アンケートの回収状況

ア　配布数	1,500　件
イ　未配達分（宛先不明）	2　件
ウ　有効発送数（ア-イ）	1,498　件
エ　郵送回収数	302　件
オ　WEB 回収数	243　件
カ　有効回収数	545　件
キ　有効回収率（カ÷ウ）	36.4　%

4）回答者と内訳

内訳		回答者数 ※〔 〕は WEB 回答者数				
性別		男性	女性	その他・回答しない	無回答	計
計		98〔55〕	438〔184〕	6〔3〕	3〔1〕	545〔243〕
年代別	24 歳以下	4〔2〕	8〔2〕	0〔0〕	0〔0〕	12〔4〕
	25～34 歳	13〔10〕	92〔43〕	2〔2〕	0〔0〕	107〔55〕
	35～44 歳	42〔29〕	243〔101〕	2〔1〕	2〔1〕	289〔132〕
	45～54 歳	35〔14〕	90〔35〕	2〔0〕	1〔0〕	128〔49〕
	55～64 歳	3〔0〕	2〔1〕	0〔0〕	0〔0〕	5〔1〕
	65 歳以上	1〔0〕	1〔1〕	0〔0〕	0〔0〕	2〔1〕
	無回答	0〔0〕	2〔1〕	0〔0〕	0〔0〕	2〔1〕

5）報告書の見方

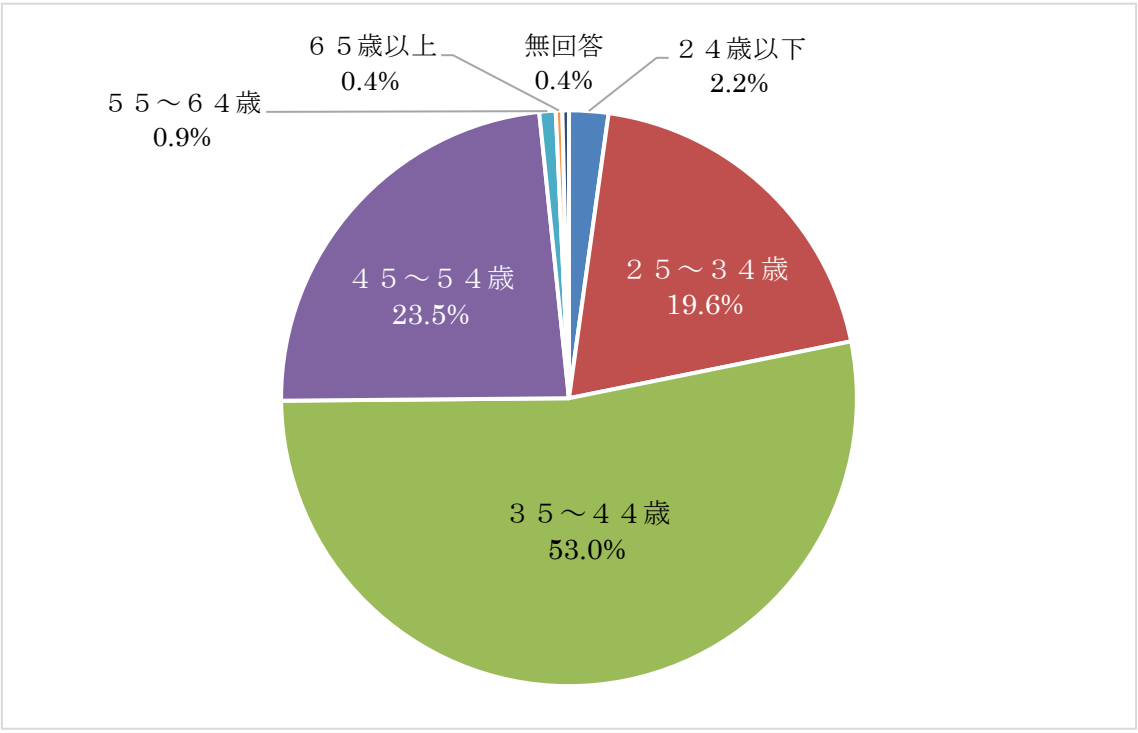
- 特にことわりのない場合は全て複数の選択肢から1つだけを選択して回答する問となっています。
- 結果数値は、小数点第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならないことがあります。
- 構成比については、〈回答数／全回答数〉としています。
- 複数回答の場合、回答者数に対する割合を表しているため、構成比の合計が100%にならないことがあります。
- グラフは全て構成比（%）で表示しています。

１．回答者の属性

【問 1】年齢を教えてください。

- 回答者の年齢で、最も多くなったのは「35歳～44歳」となりました。次いで「45～54歳」が23.5%、「25歳～34歳」が19.6%となりました。

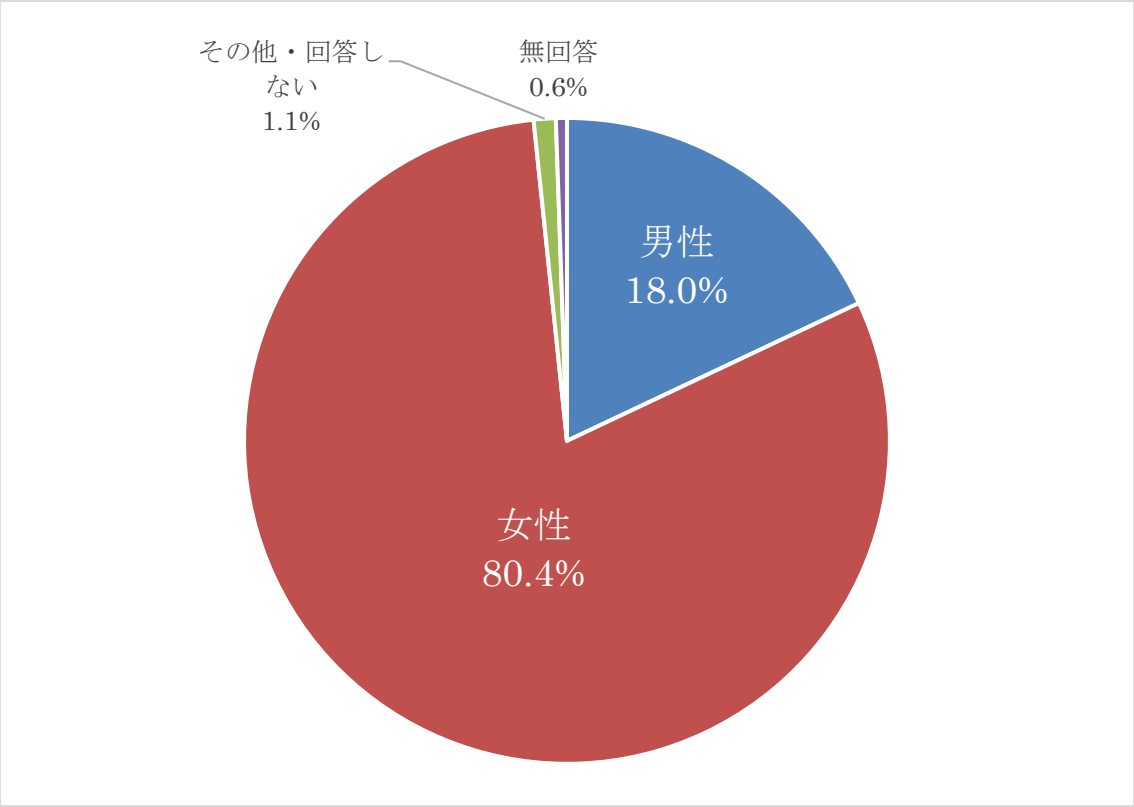
項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	24歳以下	12	2.2%	4	8
2	25～34歳	107	19.6%	13	92
3	35～44歳	289	53.0%	42	243
4	45～54歳	128	23.5%	35	90
5	55～64歳	5	0.9%	3	2
6	65歳以上	2	0.4%	1	1
7	無回答	2	0.4%	0	2
全体		545	-	98	438



【問2】性別を教えてください。

- 回答者の性別は「男性」18.0%、「女性」80.4%となりました。

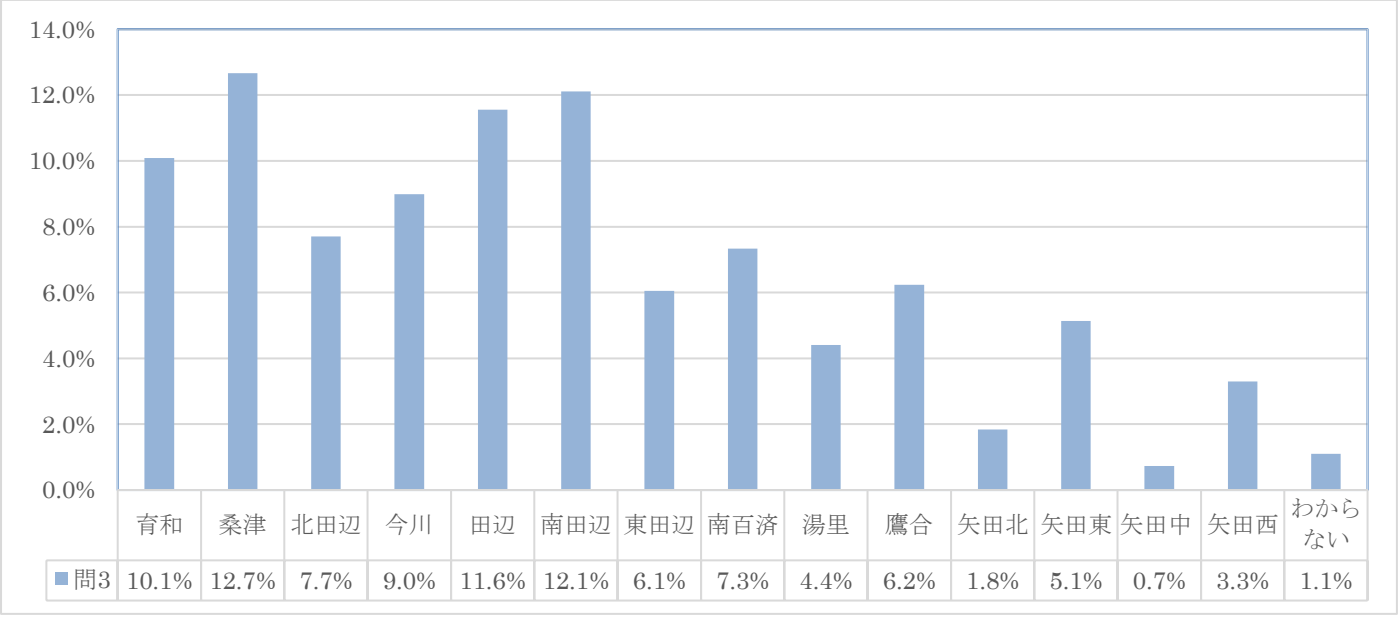
選択肢		回答数	比率
1	男性	98	18.0%
2	女性	438	80.4%
3	その他・回答しない	6	1.1%
	無回答	3	0.6%
全体		545	-



【問3】住んでいる地域(小学校区)を教えてください。

- 居住地域で回答者の割合が10%以上となったのは「桑津」12.7%、「南田辺」12.1%、「田辺」11.6%、「育和」10.1%となりました。

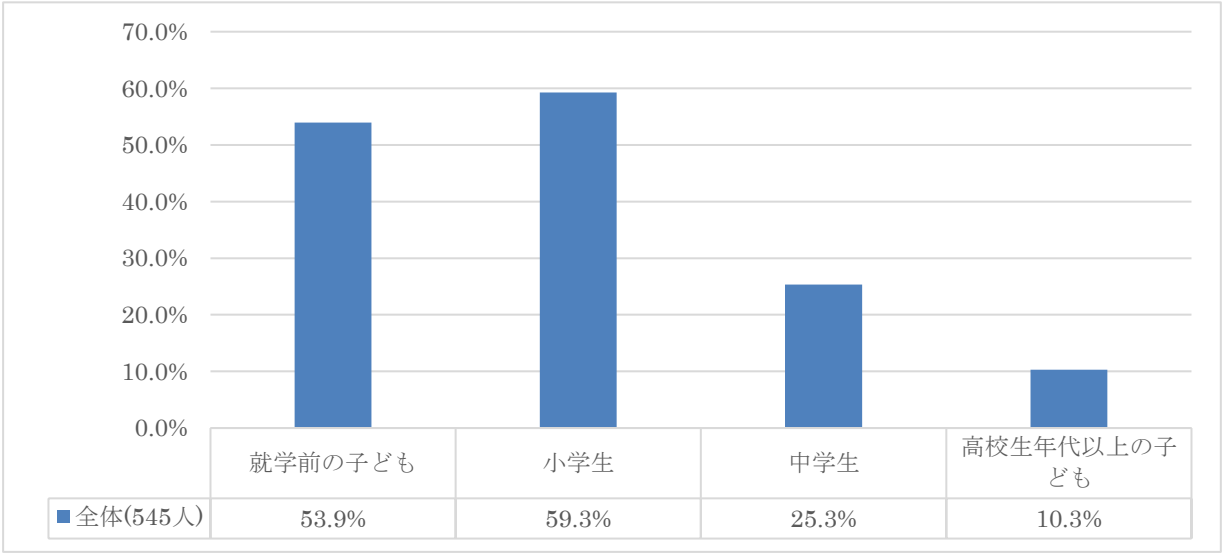
項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	育和	55	10.1%	10	44
2	桑津	69	12.7%	11	56
3	北田辺	42	7.7%	9	33
4	今川	49	9.0%	11	38
5	田辺	63	11.6%	6	55
6	南田辺	66	12.1%	20	43
7	東田辺	33	6.1%	3	30
8	南百済	40	7.3%	5	35
9	湯里	24	4.4%	4	20
10	鷹合	34	6.2%	6	28
11	矢田北	10	1.8%	0	10
12	矢田東	28	5.1%	5	23
13	矢田中	4	0.7%	0	4
14	矢田西	18	3.3%	6	11
15	わからない	6	1.1%	2	4
	無回答	4	0.7%	0	4
全体		545	-	98	438

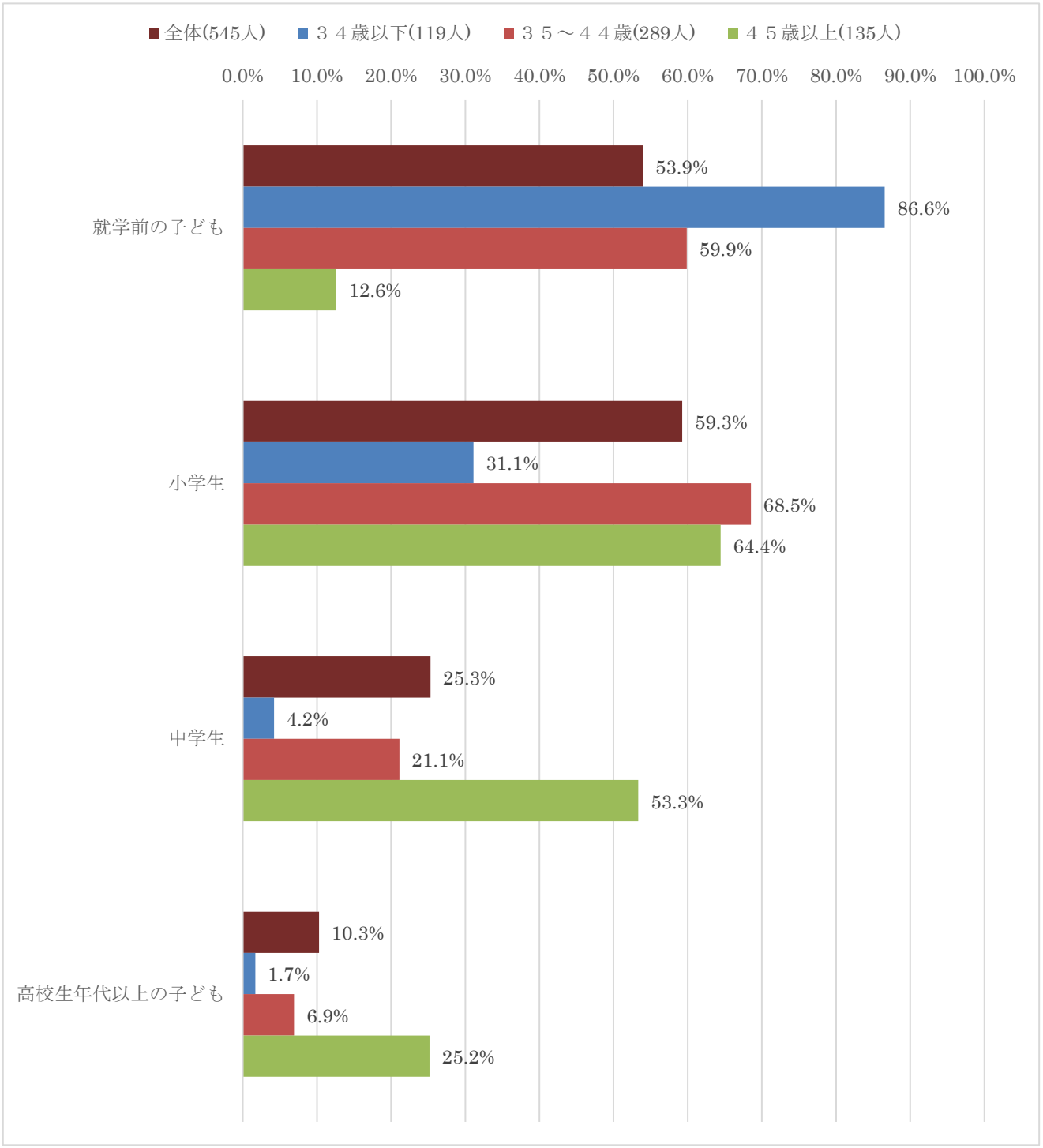


【問4】世帯のお子さまについて該当する番号をすべて選んでください。

- 世帯のお子さまで回答者の割合が最も多かったのは「小学生」で59.3%、次いで「就学前の子ども」が53.9%となりました。
- 年代別に見ると、『34歳以下』では、「就学前の子ども」が86.6%と最も多く、次いで「小学生」が31.1%となりました。
- 『35～44 歳』では、「小学生」68.5%が最も多く、次いで「就学前の子ども」59.9%となりました。
- 『45 歳以上』では、「小学生」64.4%が最も多く、次いで「中学生」53.3%となりました。

項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	就学前の子ども	294	53.9%	49	242
2	小学生	323	59.3%	52	266
3	中学生	138	25.3%	23	112
4	高校生年代以上の子ども	56	10.3%	11	45
	無回答	1	0.2%	0	1
全体		545	-	98	438

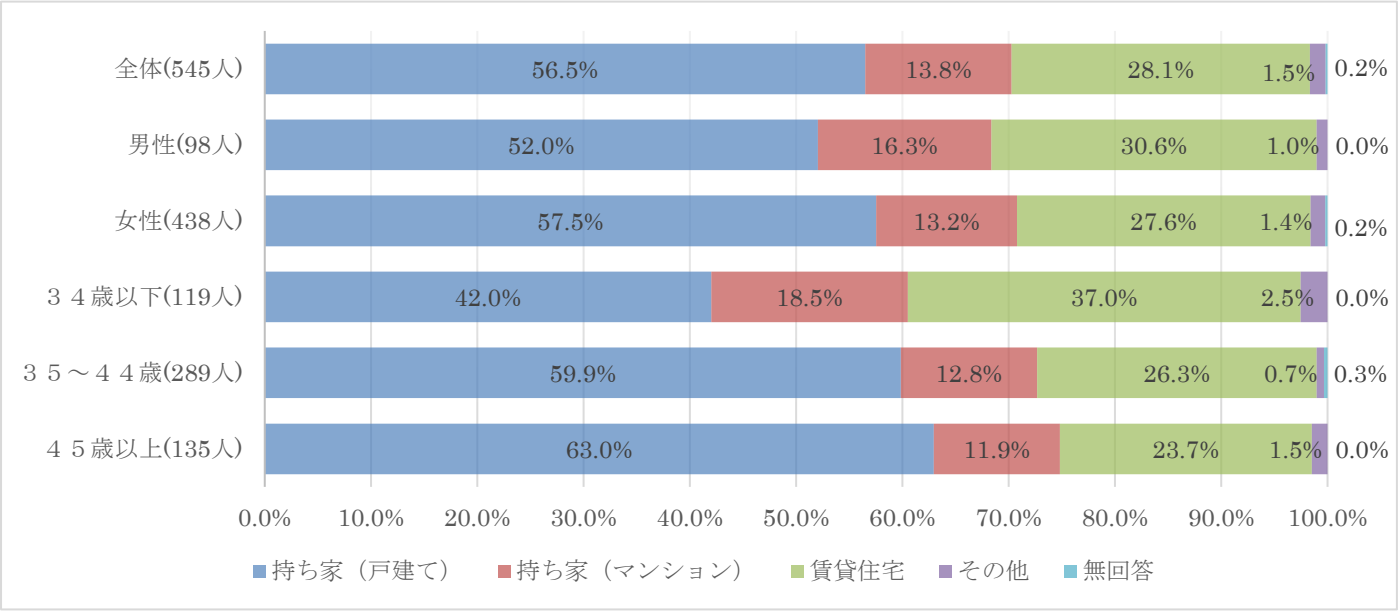



全体(545人)
３４歳以下(119人)
３５～４４歳(289人)
４５歳以上(135人)
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
50.0%
60.0%
70.0%
80.0%
90.0%
100.0%
就学前の子ども
53.9%
86.6%
59.9%
12.6%
小学生
59.3%
31.1%
68.5%
64.4%
中学生
25.3%
4.2%
21.1%
53.3%
高校生年代以上の子ども
10.3%
1.7%
6.9%
25.2%

【問5】今のお住まいの住宅の種類を教えてください。

- 住宅の種類では「持ち家(戸建て)」が56.5%で最多となりました。
- 年代別に見ると『34歳以下』で「持ち家(戸建て)」が42.0%と他の年代より低く、「賃貸住宅」が37.0%と他の年代より高くなっています。

項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	持ち家(戸建て)	308	56.5%	51	252
2	持ち家(マンション)	75	13.8%	16	58
3	賃貸住宅	153	28.1%	30	121
4	その他	8	1.5%	1	6
	無回答	1	0.2%	0	1
全体		545	-	98	438

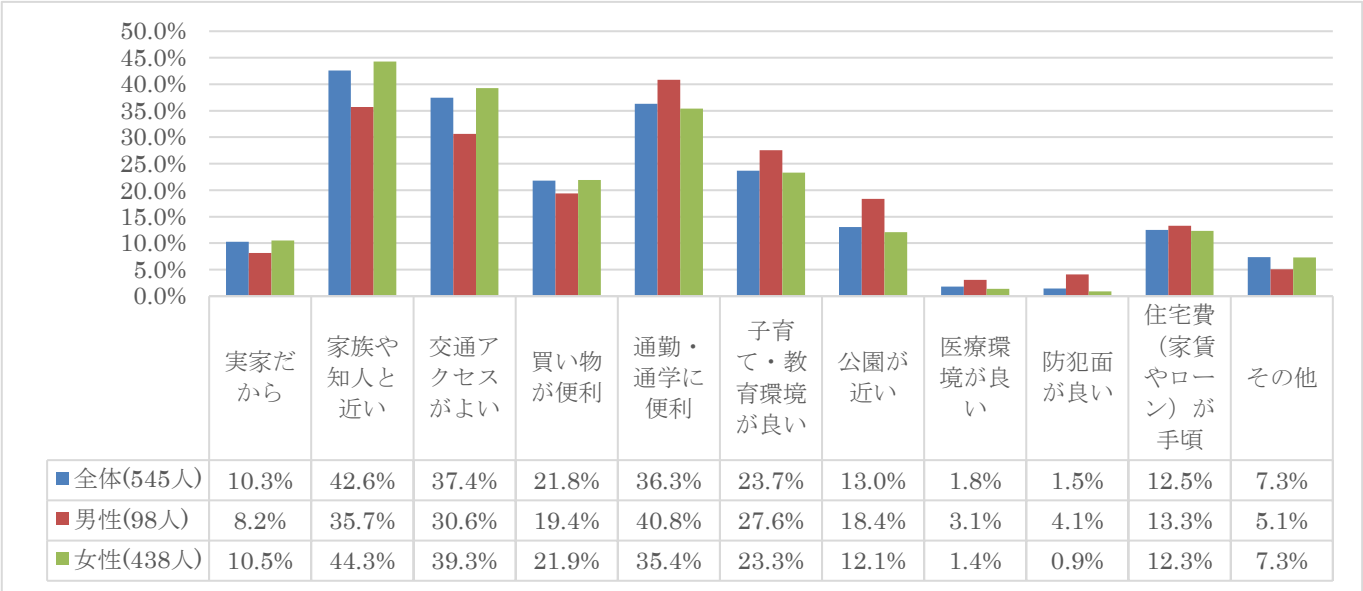


2．東住吉区の住みやすさ・魅力について

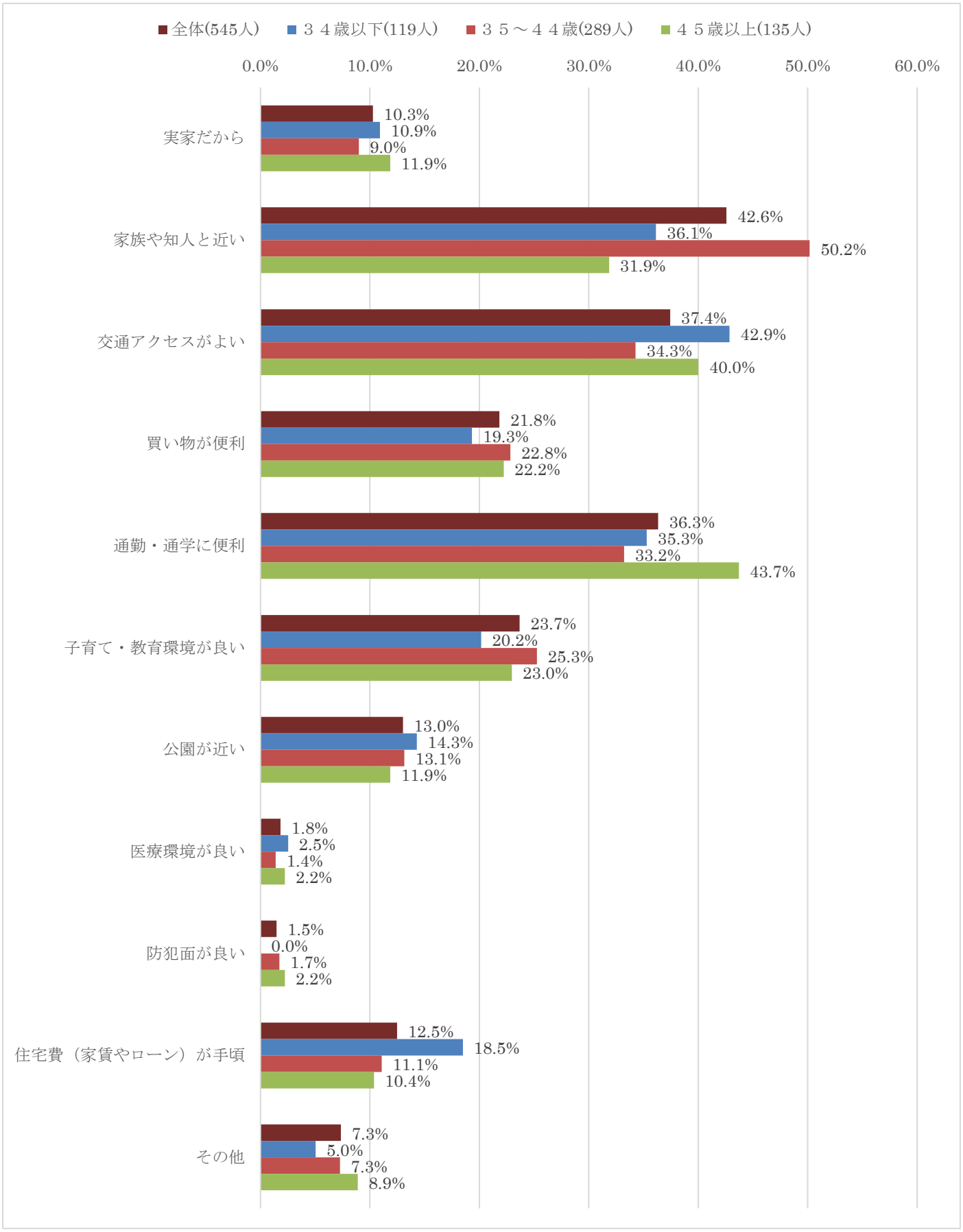
【問6】今のお住まいに住むことを決められた理由を教えてください。（○は3つまで）

- 今のお住まいに住むことを決められた理由では、「家族や知人と近い」が42.6%で最多となりました。次いで、「交通アクセスがよい」が37.4%、「通勤・通学に便利」が36.3%となりました。
- 男女別に見ると『男性』で最多となったのは「通勤・通学に便利」が40.8%で、『女性』で最多となったのは「家族や知人と近い」が44.3%となりました。
- 年代別に見ると、『35～44歳』で「家族や知人と近い」が50.2%と、他の年代より高くなっています。『34歳以下』では「子育て・教育環境が良い」が20.2%と、他の年代より低くなっています。

項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	実家だから	56	10.3%	8	46
2	家族や知人と近い	232	42.6%	35	194
3	交通アクセスがよい	204	37.4%	30	172
4	買い物が便利	119	21.8%	19	96
5	通勤・通学に便利	198	36.3%	40	155
6	子育て・教育環境が良い	129	23.7%	27	102
7	公園が近い	71	13.0%	18	53
8	医療環境が良い	10	1.8%	3	6
9	防犯面が良い	8	1.5%	4	4
10	住宅費（家賃やローン）が手頃	68	12.5%	13	54
11	その他	40	7.3%	5	32
	無回答	2	0.4%	0	2
全体		545	-	98	438



	実家だから	家族や知人と近い	交通アクセスがよい	買い物が便利	通勤・通学に便利	子育て・教育環境が良い	公園が近い	医療環境が良い	防犯面が良い	住宅費（家賃やローン）が手頃	その他
全体(545人)	10.3%	42.6%	37.4%	21.8%	36.3%	23.7%	13.0%	1.8%	1.5%	12.5%	7.3%
男性(98人)	8.2%	35.7%	30.6%	19.4%	40.8%	27.6%	18.4%	3.1%	4.1%	13.3%	5.1%
女性(438人)	10.5%	44.3%	39.3%	21.9%	35.4%	23.3%	12.1%	1.4%	0.9%	12.3%	7.3%


全体(545人)
３４歳以下(119人)
３５～４４歳(289人)
４５歳以上(135人)
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
50.0%
60.0%
実家だから
10.3%
10.9%
9.0%
11.9%
家族や知人と近い
42.6%
36.1%
50.2%
31.9%
交通アクセスがよい
37.4%
42.9%
34.3%
40.0%
買い物が便利
21.8%
19.3%
22.8%
22.2%
通勤・通学に便利
36.3%
35.3%
33.2%
43.7%
子育て・教育環境が良い
23.7%
20.2%
25.3%
23.0%
公園が近い
13.0%
14.3%
13.1%
11.9%
医療環境が良い
1.8%
2.5%
1.4%
2.2%
防犯面が良い
1.5%
0.0%
1.7%
2.2%
住宅費（家賃やローン）が手頃
12.5%
18.5%
11.1%
10.4%
その他
7.3%
5.0%
7.3%
8.9%

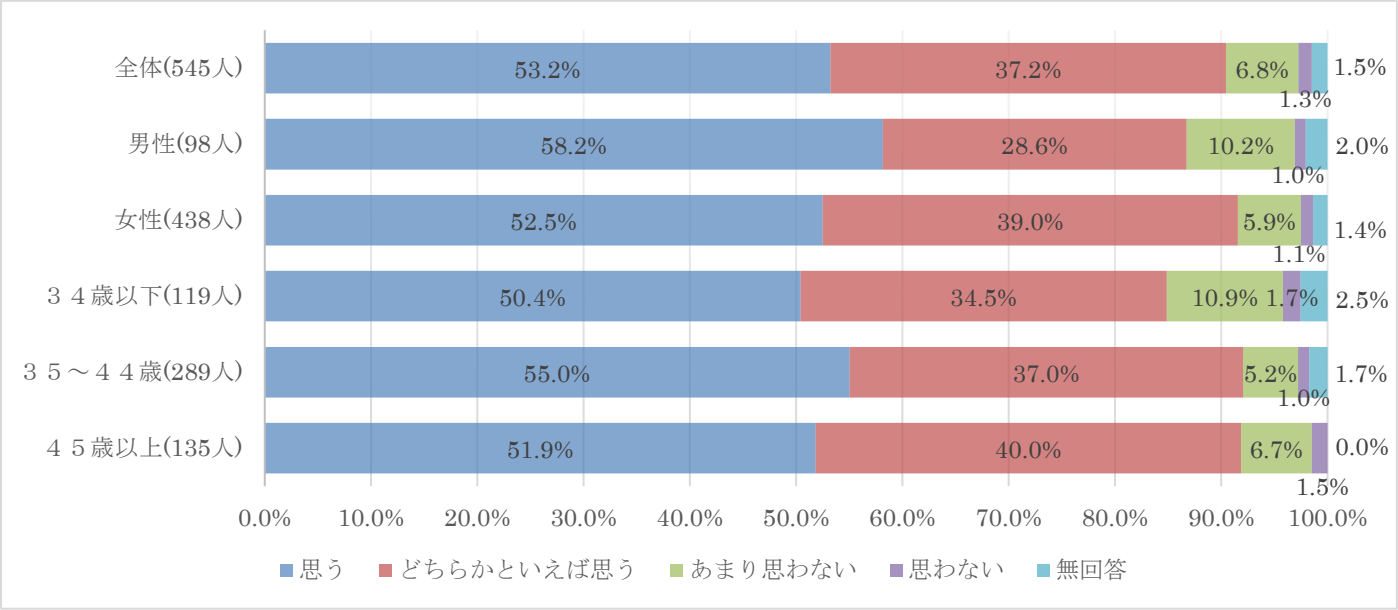
その他の理由（一部抜粋）

内容
希望の通学区域
家族や親族との同居
住み慣れている
家族が決めた
知っている土地だったから
夫が住んでいたところの近くに売家があったから
部屋の広さ
通院に便利
天王寺に近い
元より所有
不動産業者にすすめられた
親族にすすめられた
自分や家族の地元
公共施設が充実している（図書館、子育てプラザなど）

【問7】これからも東住吉区に住みたい、住み続けたいと思いますか。(1つだけ)

- 「思う」が53.2%、「どちらかといえば思う」が37.2%となりました。
- 男女別に見ると「思う」と回答した割合は男女共に大きな違いは見受けられませんが、「どちらかと言えば思う」と回答した割合は『女性』が39.0%と『男性』よりも高くなっています。
- 年代別に見ると「思う」、「どちらかと言えば思う」と回答した割合は全年代に大きな差は見受けられません。

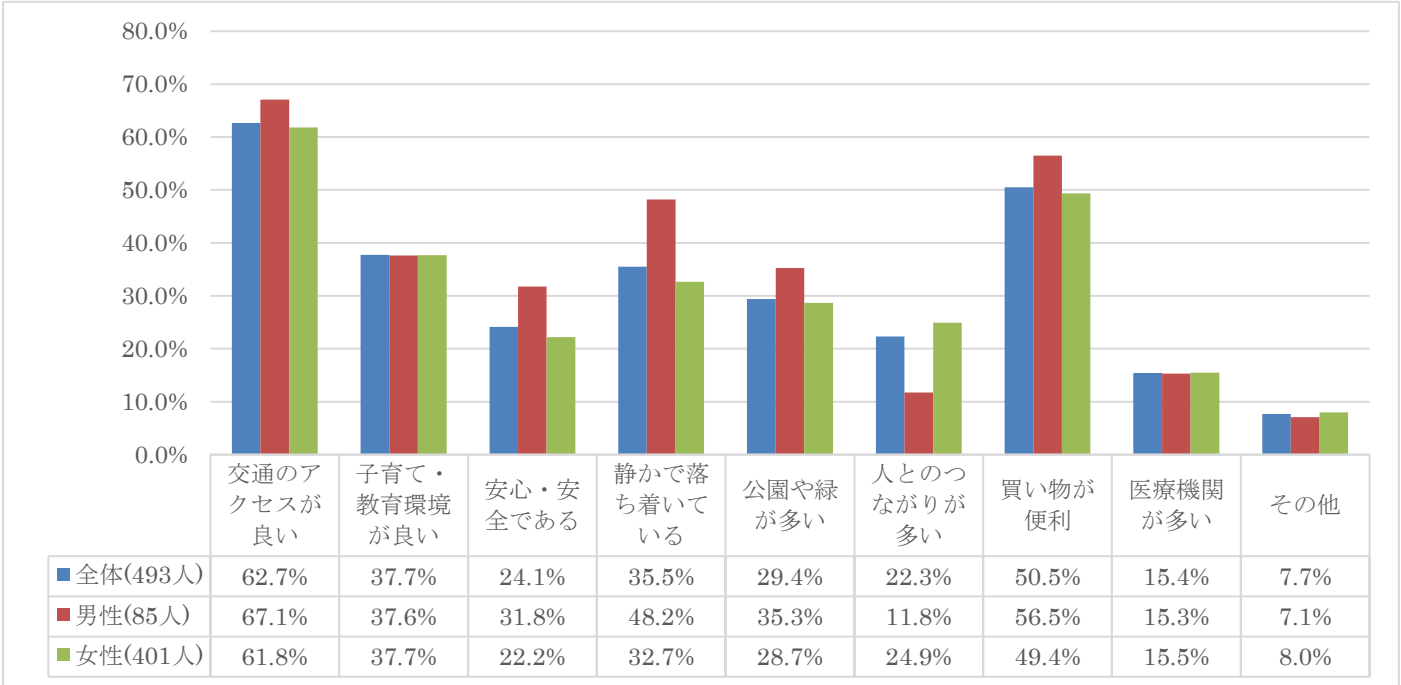
項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	思う	290	53.2%	57	230
2	どちらかといえば思う	203	37.2%	28	171
3	あまり思わない	37	6.8%	10	26
4	思わない	7	1.3%	1	5
	無回答	8	1.5%	2	6
全体		545	-	98	438



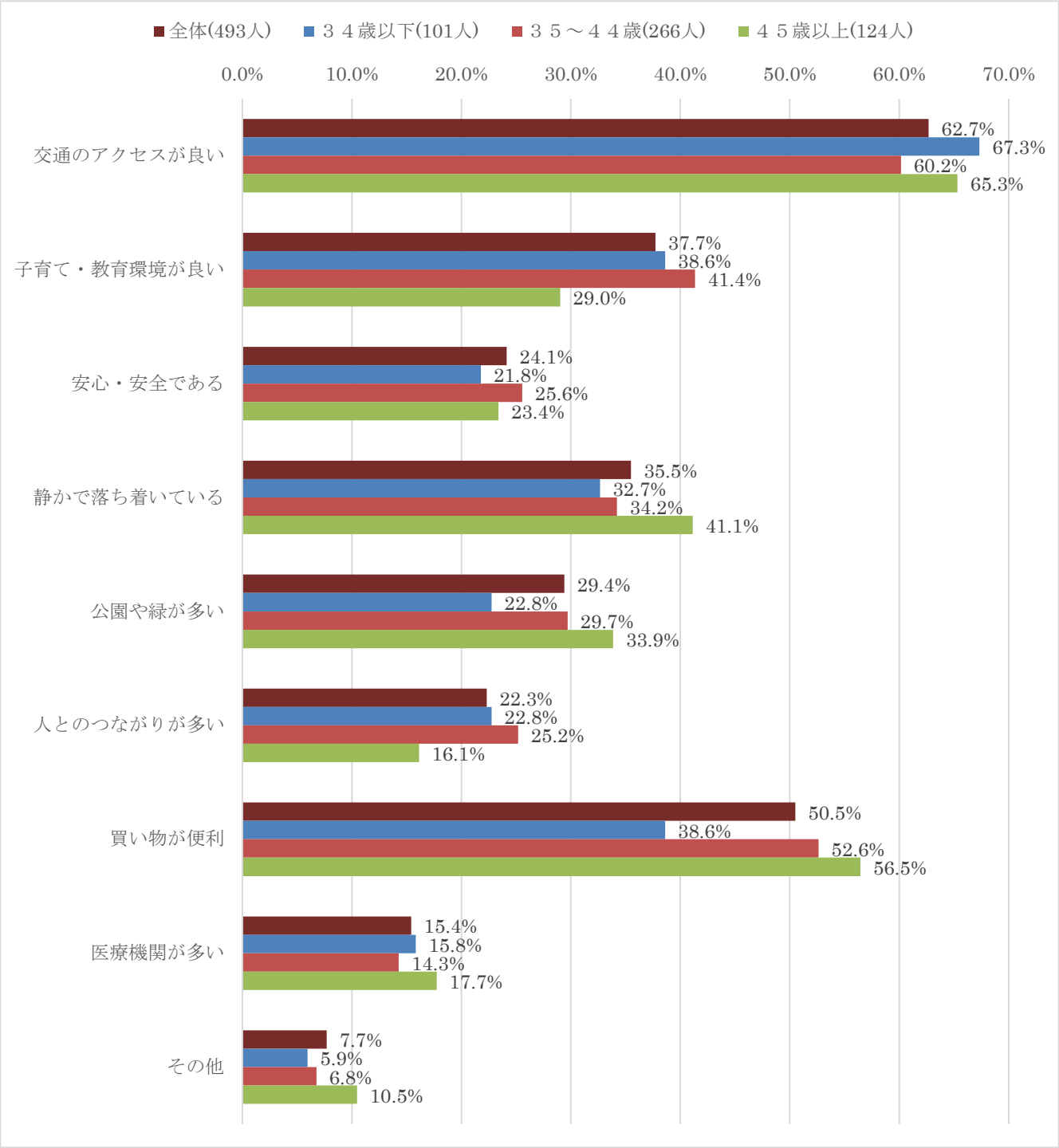
【問8】問7で「1　思う」、「2　どちらかといえば思う」を選ばれた方にお聞きします。
問7の選択肢を選ばれた理由を教えてください。（〇はいくつでも）

- 東住吉区に住み続けたい理由では、「交通のアクセスが良い」が62.7%と最も多く、次いで「買い物が便利」が50.5%、「子育て・教育環境が整っている」が37.7%となりました。
- 男女別に見ると、『男性』で「買い物が便利」と回答した割合が56.5%と『女性』よりも高くなっています。
- 年代別に見ると、全年代で「交通のアクセスが良い」と回答した割合が最も多くなりました。「買い物が便利」は『35～44歳』で52.6%『45歳以上』で56.5%と年代が上がるほど高く、『34歳以下』では「子育て・教育環境が良い」と「買い物が便利」がともに38.6%と同率の割合となりました。

項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	交通のアクセスが良い	309	62.7%	57	248
2	子育て・教育環境が良い	186	37.7%	32	151
3	安心・安全である	119	24.1%	27	89
4	静かで落ち着いている	175	35.5%	41	131
5	公園や緑が多い	145	29.4%	30	115
6	人とのつながりが多い	110	22.3%	10	100
7	買い物が便利	249	50.5%	48	198
8	医療機関が多い	76	15.4%	13	62
9	その他	38	7.7%	6	32
	無回答	1	0.2%	0	1
全体		493	-	85	401



	交通のアクセスが良い	子育て・教育環境が良い	安心・安全である	静かで落ち着いている	公園や緑が多い	人とのつながりが多い	買い物が便利	医療機関が多い	その他
全体(493人)	62.7%	37.7%	24.1%	35.5%	29.4%	22.3%	50.5%	15.4%	7.7%
男性(85人)	67.1%	37.6%	31.8%	48.2%	35.3%	11.8%	56.5%	15.3%	7.1%
女性(401人)	61.8%	37.7%	22.2%	32.7%	28.7%	24.9%	49.4%	15.5%	8.0%


全体(493人)
３４歳以下(101人)
３５～４４歳(266人)
４５歳以上(124人)
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
50.0%
60.0%
70.0%
交通のアクセスが良い
62.7%
67.3%
60.2%
65.3%
子育て・教育環境が良い
37.7%
38.6%
41.4%
29.0%
安心・安全である
24.1%
21.8%
25.6%
23.4%
静かで落ち着いている
35.5%
32.7%
34.2%
41.1%
公園や緑が多い
29.4%
22.8%
29.7%
33.9%
人とのつながりが多い
22.3%
22.8%
25.2%
16.1%
買い物が便利
50.5%
38.6%
52.6%
56.5%
医療機関が多い
15.4%
15.8%
14.3%
17.7%
その他
7.7%
5.9%
6.8%
10.5%

その他の理由（一部抜粋）

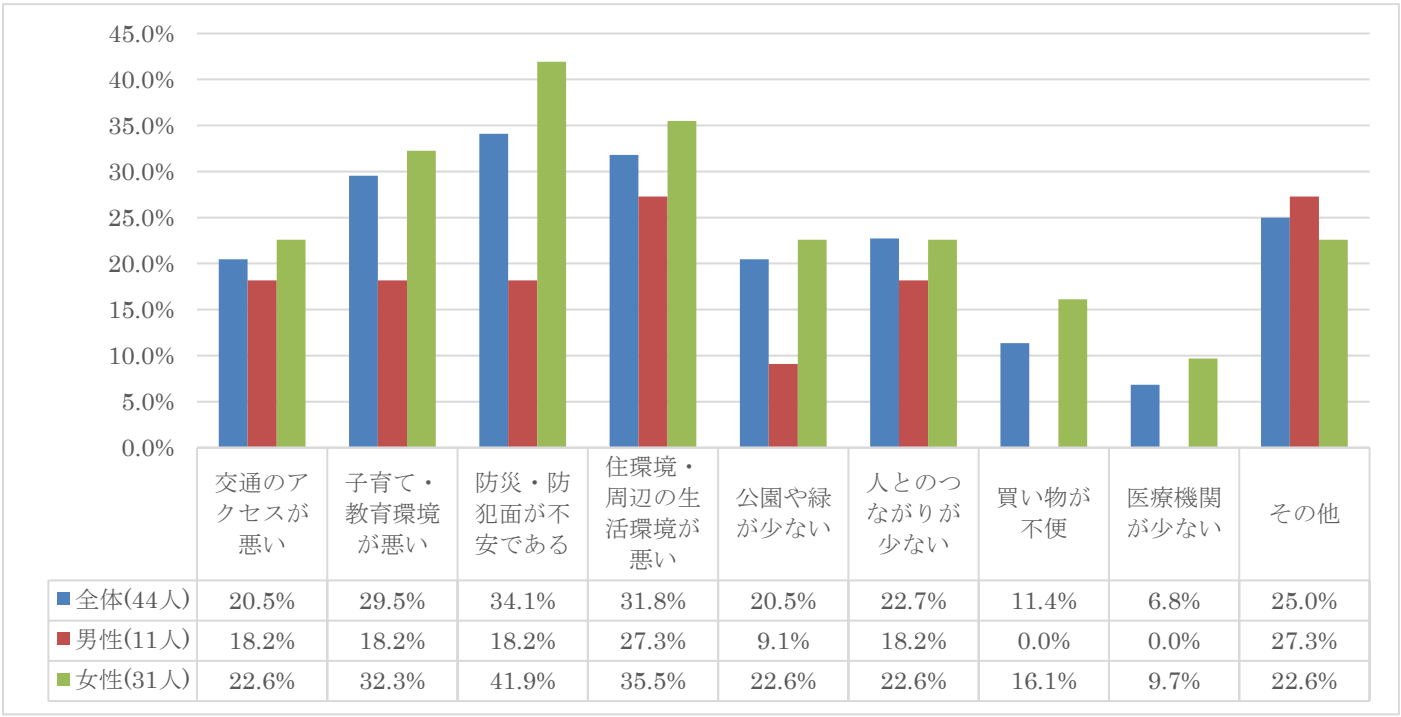
内容
自分や家族の地元
持ち家のため
実家が近い
住み慣れている
不便と感じていない
義実家同居
近所に良い人が多い
天王寺に近い
自身の住み方に丁度良い
区役所に親切な人が多い

【問9】問7で「3あまり思わない」、「4思わない」を選ばれた方にお聞きします。

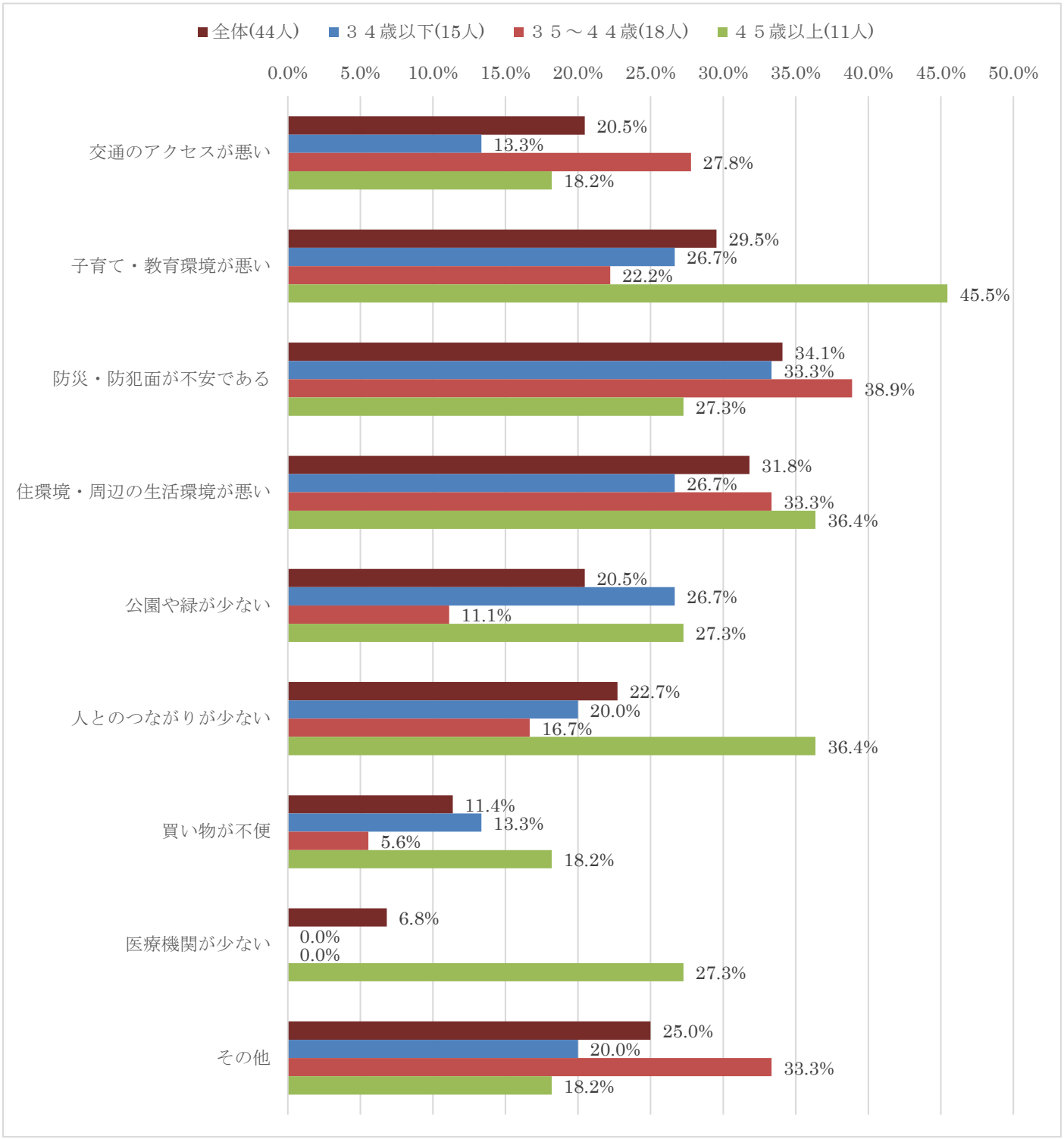
問7の選択肢を選ばれた理由を教えてください。(○はいくつでも)

- 東住吉区に住みたいと思わない理由では、「防災・防犯面が不安である」が34.1%と最も多く、次いで「住環境・周辺の生活環境が悪い」が31.8%となりました。
- 男女別に見ると、『女性』で「防災・防犯面が不安である」と回答した割合が41.9%と『男性』よりも高くなっています。
- 年代別で見ると、『45歳以上』で「子育て・教育環境が悪い」が 45.5%と、他の年代より高くなっています。

項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	交通のアクセスが悪い	9	20.5%	2	7
2	子育て・教育環境が悪い	13	29.5%	2	10
3	防災・防犯面が不安である	15	34.1%	2	13
4	住環境・周辺の生活環境が悪い	14	31.8%	3	11
5	公園や緑が少ない	9	20.5%	1	7
6	人とのつながりが少ない	10	22.7%	2	7
7	買い物が不便	5	11.4%	0	5
8	医療機関が少ない	3	6.8%	0	3
9	その他	11	25.0%	3	7
	無回答	0	0.0%	0	0
全体		44	-	11	31



	交通のアクセスが悪い	子育て・教育環境が悪い	防災・防犯面が不安である	住環境・周辺の生活環境が悪い	公園や緑が少ない	人とのつながりが少ない	買い物が不便	医療機関が少ない	その他
全体(44人)	20.5%	29.5%	34.1%	31.8%	20.5%	22.7%	11.4%	6.8%	25.0%
男性(11人)	18.2%	18.2%	18.2%	27.3%	9.1%	18.2%	0.0%	0.0%	27.3%
女性(31人)	22.6%	32.3%	41.9%	35.5%	22.6%	22.6%	16.1%	9.7%	22.6%


全体(44人)
３４歳以下(15人)
３５～４４歳(18人)
４５歳以上(11人)
0.0%
5.0%
10.0%
15.0%
20.0%
25.0%
30.0%
35.0%
40.0%
45.0%
50.0%
交通のアクセスが悪い
20.5%
13.3%
27.8%
18.2%
子育て・教育環境が悪い
29.5%
26.7%
22.2%
45.5%
防災・防犯面が不安である
34.1%
33.3%
38.9%
27.3%
住環境・周辺の生活環境が悪い
31.8%
26.7%
33.3%
36.4%
公園や緑が少ない
20.5%
26.7%
11.1%
27.3%
人とのつながりが少ない
22.7%
20.0%
16.7%
36.4%
買い物が不便
11.4%
13.3%
5.6%
18.2%
医療機関が少ない
6.8%
0.0%
0.0%
27.3%
その他
25.0%
20.0%
33.3%
18.2%

その他の理由（一部抜粋）

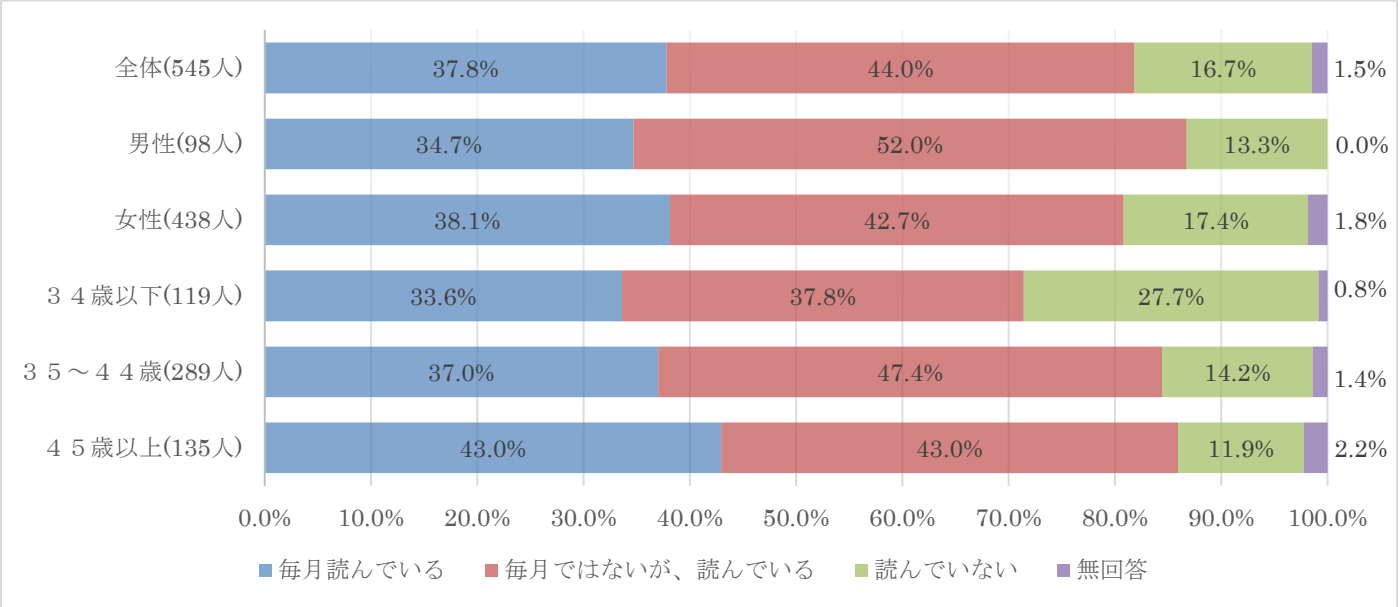
内容
通勤・通学が不便
仕事の関係
もう少し田舎に住んでみたい
住み続けたいと思わせるような特徴がない
特に住みたい理由がない
自宅がある
移住予定がある
家族が引越し、近くに頼れる人がいない
子どもが少なすぎる（住吉区が多い）

３．子育て情報の広報について

【問10】毎月発行の区広報紙「広報東住吉なでしこ」を、区内全世帯・全事業所に配布しています。
「広報東住吉なでしこ」を読んでいますか。（1つだけ）

- 「毎月読んでいる」が37.8%、「毎月ではないが、読んでいる」が44.0%となりました。
- 男女別に見ると、『男性』で「毎月読んでいる＋毎月ではないが、読んでいる」が86.7%と、『女性』より高くなっています。
- 年代別で見ると、「毎月読んでいる」は『45歳以上』で43.0%と、年代が上がるほど高くなっています。

項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	毎月読んでいる	206	37.8%	34	167
2	毎月ではないが、読んでいる	240	44.0%	51	187
3	読んでいない	91	16.7%	13	76
	無回答	8	1.5%	0	8
全体		545	-	98	438

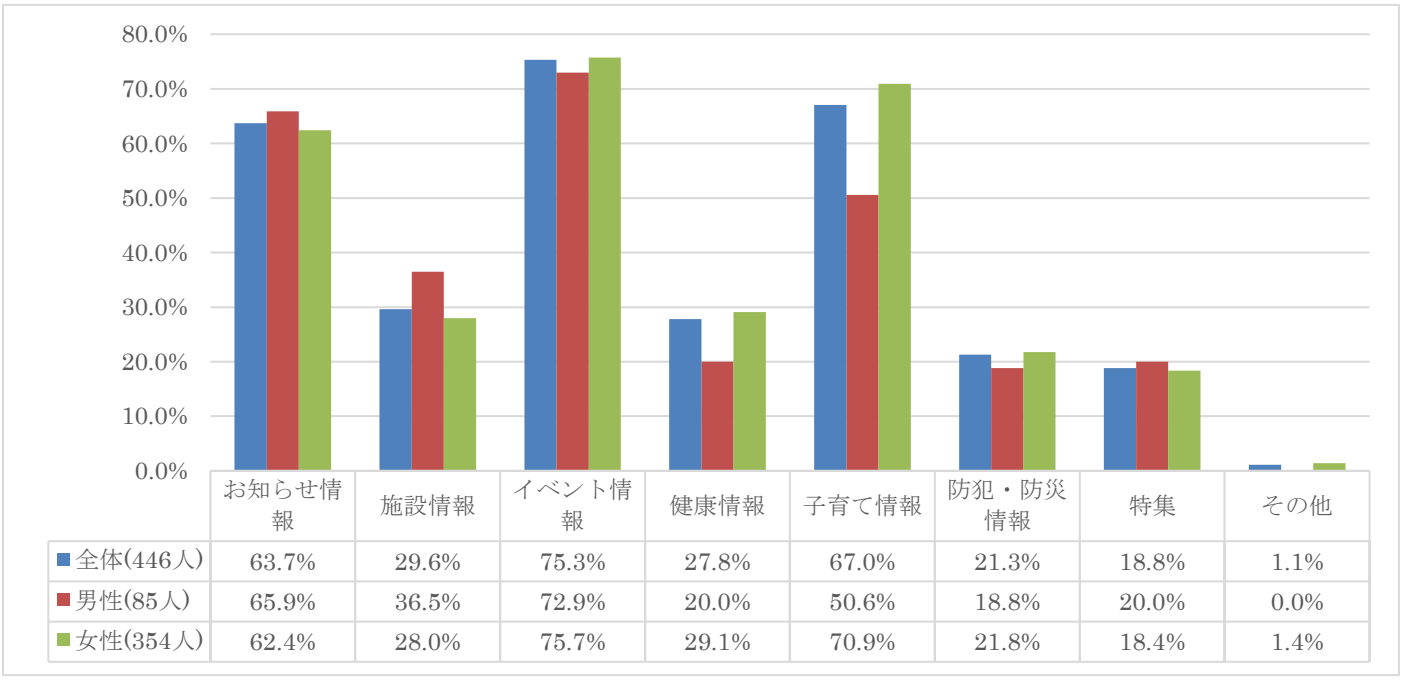


【問11】問 10 で「1　毎月読んでいる」、「2　毎月ではないが、読んでいる」を選ばれた方にお聞きします。

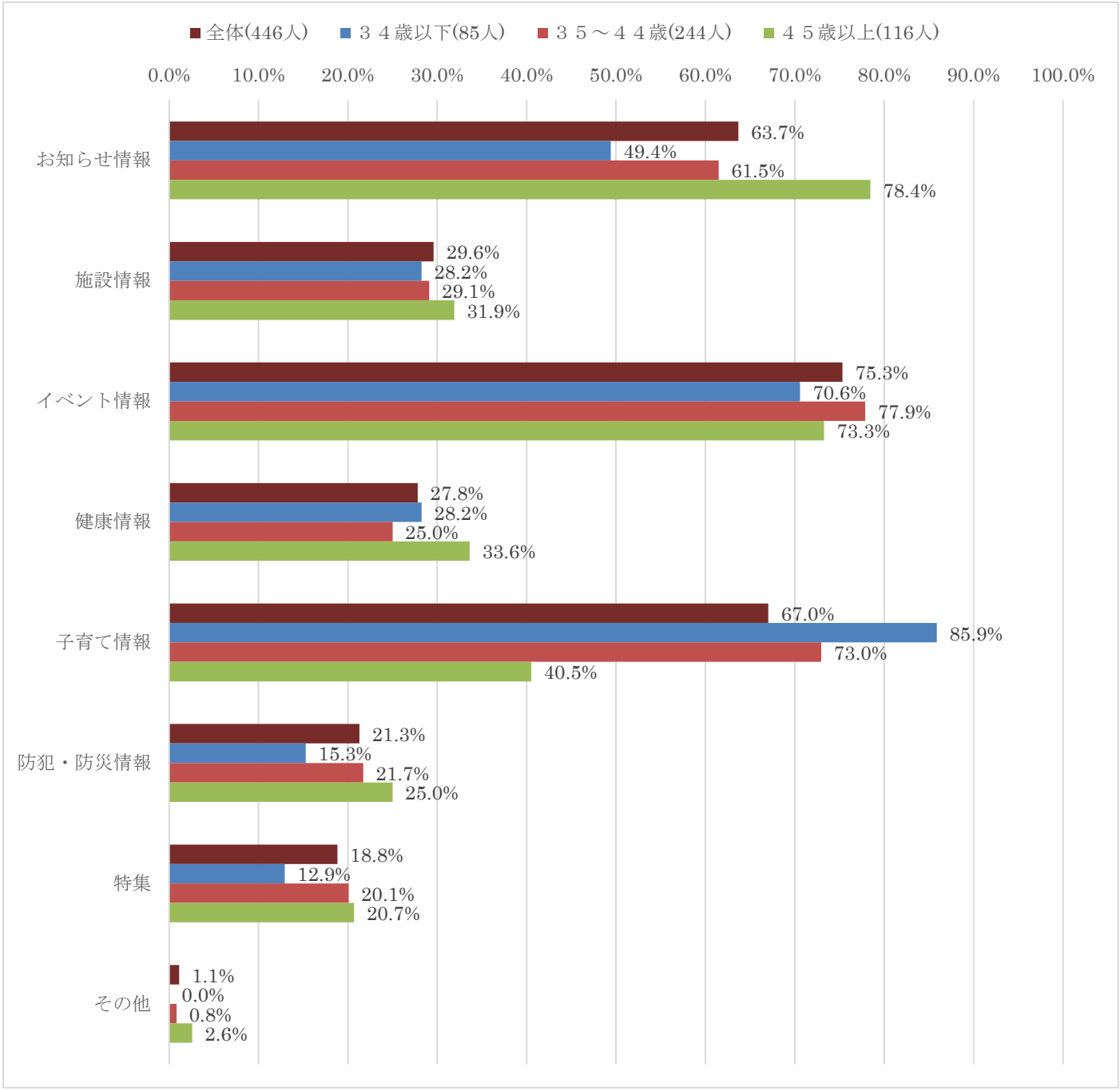
いつも読んでいる情報を教えてください。（○はいくつでも）

- いつも読んでいる情報は、「イベント情報」が75.3%と最多となっています。次いで、「子育て情報」が67.0%と高くなっています。
- 男女別で見ると、『女性』は「イベント情報」が75.7%と最も多く、次いで「子育て情報」が70.9%となりました。『男性』は「イベント情報」が72.9%と最も多く、次いで「お知らせ情報」が65.9%となりました。
- 年代別に見ると、どの年代でも「イベント情報」が7割超と高くなっています。「子育て情報」は『34歳以下』で85.9%と若い年代ほど高く、「お知らせ情報」は『45歳以上』で78.4%と年代が上がるほど高くなっています。

項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	お知らせ情報	284	63.7%	56	221
2	施設情報	132	29.6%	31	99
3	イベント情報	336	75.3%	62	268
4	健康情報	124	27.8%	17	103
5	子育て情報	299	67.0%	43	251
6	防犯・防災情報	95	21.3%	16	77
7	特集	84	18.8%	17	65
8	その他	5	1.1%	0	5
	無回答	1	0.2%	1	0
全体		446	-	85	354



	お知らせ情報	施設情報	イベント情報	健康情報	子育て情報	防犯・防災情報	特集	その他
全体(446人)	63.7%	29.6%	75.3%	27.8%	67.0%	21.3%	18.8%	1.1%
男性(85人)	65.9%	36.5%	72.9%	20.0%	50.6%	18.8%	20.0%	0.0%
女性(354人)	62.4%	28.0%	75.7%	29.1%	70.9%	21.8%	18.4%	1.4%



その他の理由(一部抜粋)

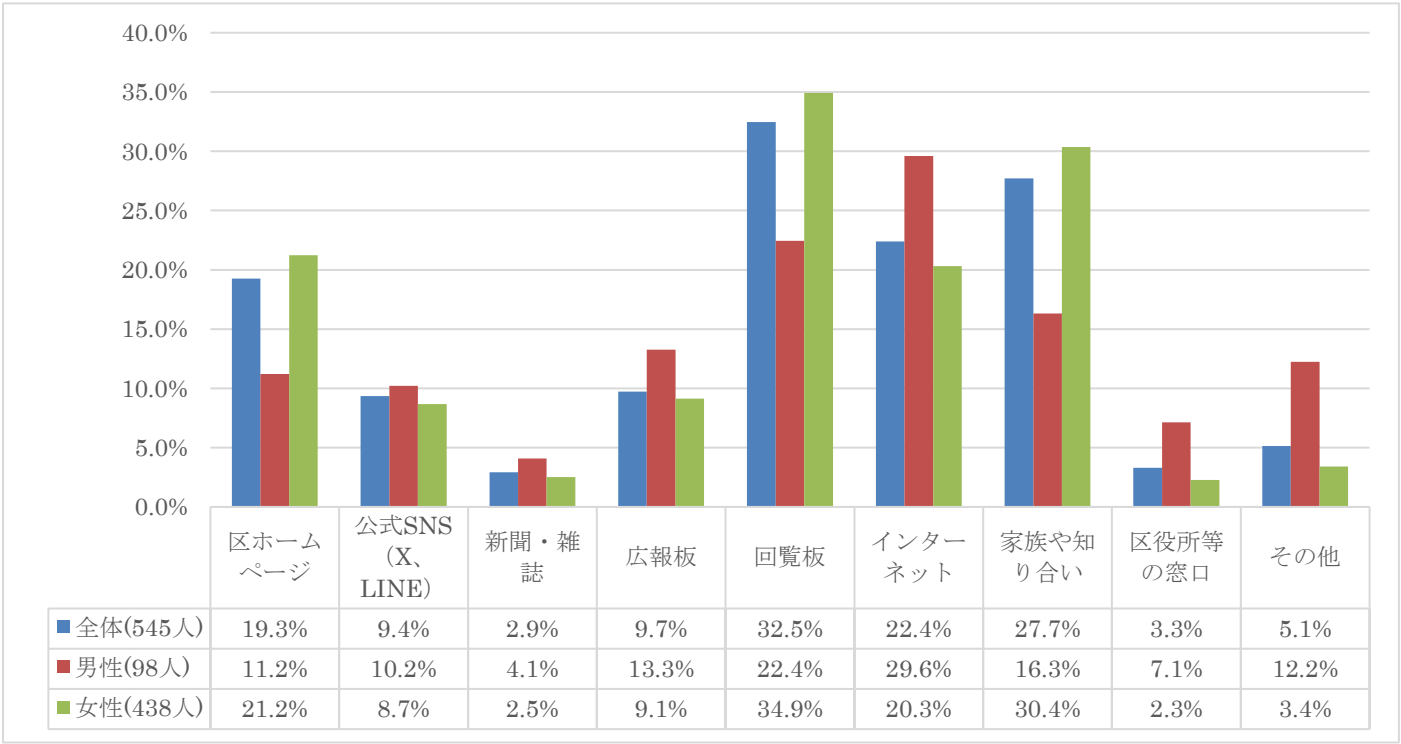
内容
さっと目を通して気になった記事
全ページに目を通すよう心がけています
赤ちゃんの写真

【問12】区広報紙「広報東住吉なでしこ」以外で、どこから区政情報を得ていますか。

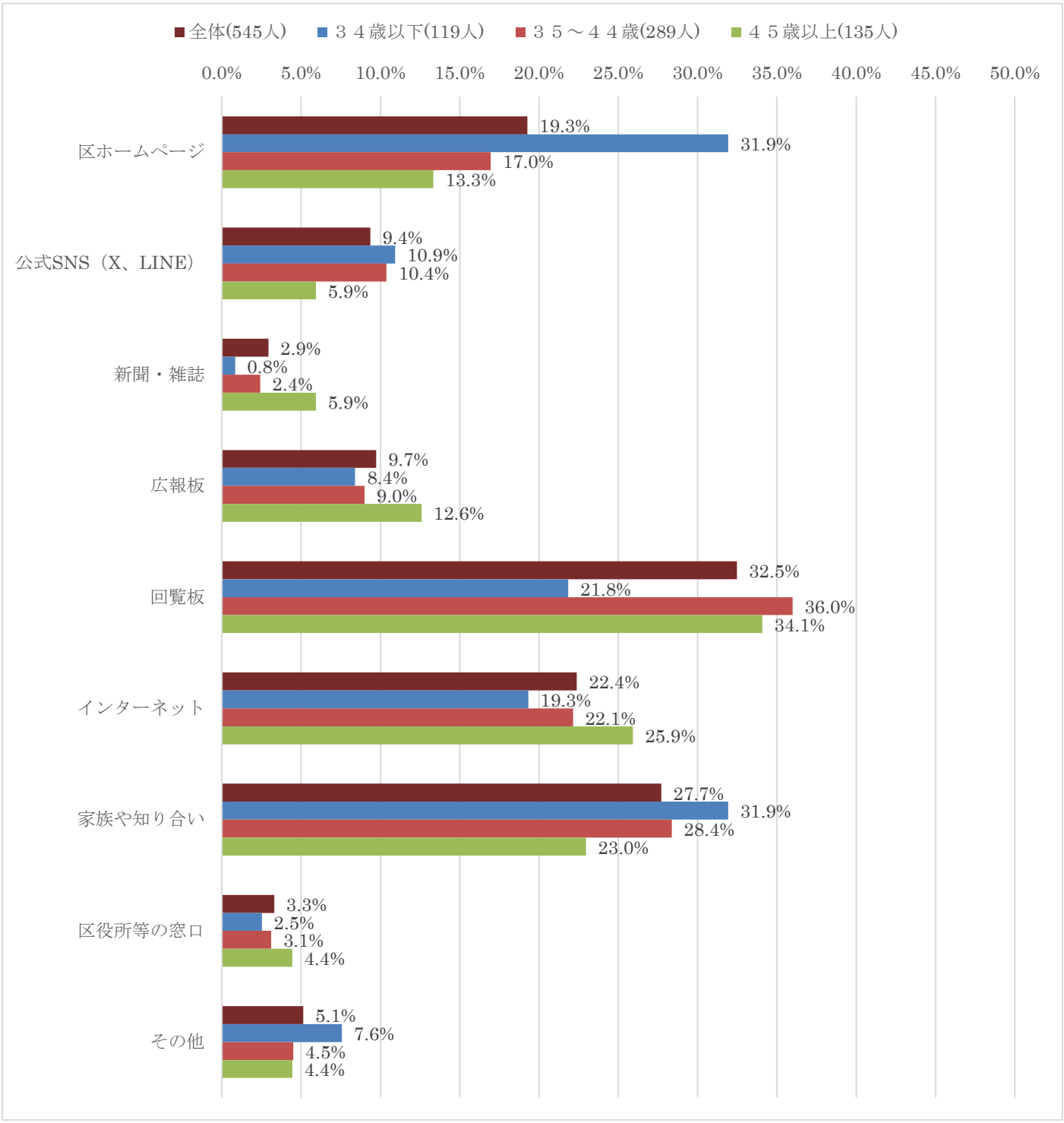
（〇はいくつでも）

- 区政情報の入手経路では、「回覧板」が32.5%と最も多くなりました。次いで「家族や知り合い」27.7%、「インターネット」22.4%となりました。
- 男女別で見ると、『女性』は「回覧板」が34.9%と最も多く、『男性』より高くなっています。
- 年代別に見ると、「回覧板」は『35～44歳』36.0%、『45歳以上』34.1%で『34歳以下』より高くなっています。また『34歳以下』では「区ホームページ」が31.9%と他の年代より高くなっています。

項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	区ホームページ	105	19.3%	11	93
2	公式 SNS（X、LINE）	51	9.4%	10	38
3	新聞・雑誌	16	2.9%	4	11
4	広報板	53	9.7%	13	40
5	回覧板	177	32.5%	22	153
6	インターネット	122	22.4%	29	89
7	家族や知り合い	151	27.7%	16	133
8	区役所等の窓口	18	3.3%	7	10
9	その他	28	5.1%	12	15
	無回答	74	13.6%	19	55
全体		545	-	98	438



	区ホームページ	公式SNS（X、LINE）	新聞・雑誌	広報板	回覧板	インターネット	家族や知り合い	区役所等の窓口	その他
全体(545人)	19.3%	9.4%	2.9%	9.7%	32.5%	22.4%	27.7%	3.3%	5.1%
男性(98人)	11.2%	10.2%	4.1%	13.3%	22.4%	29.6%	16.3%	7.1%	12.2%
女性(438人)	21.2%	8.7%	2.5%	9.1%	34.9%	20.3%	30.4%	2.3%	3.4%



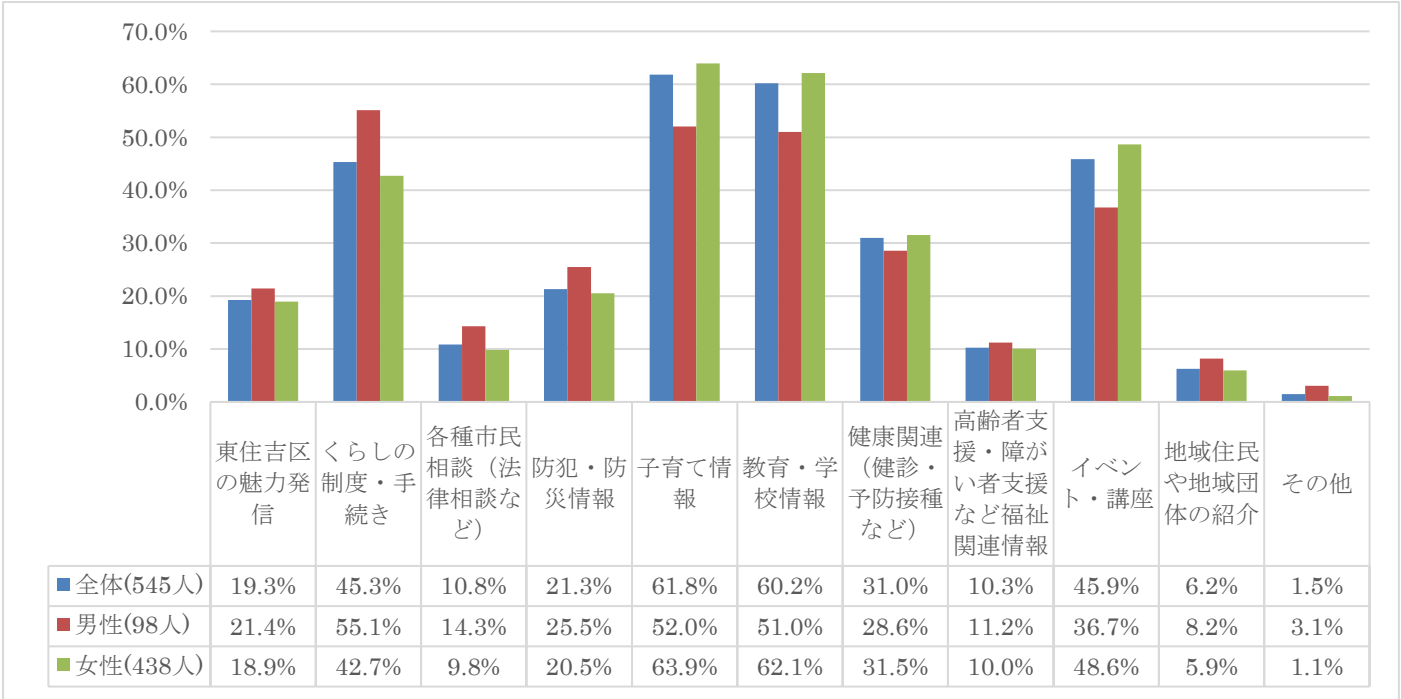
その他の理由(一部抜粋)

内容
保育園・幼稚園・小学校の配布物
なでしこのみ
図書館などに置いているチラシ
Postmail
地域の掲示板

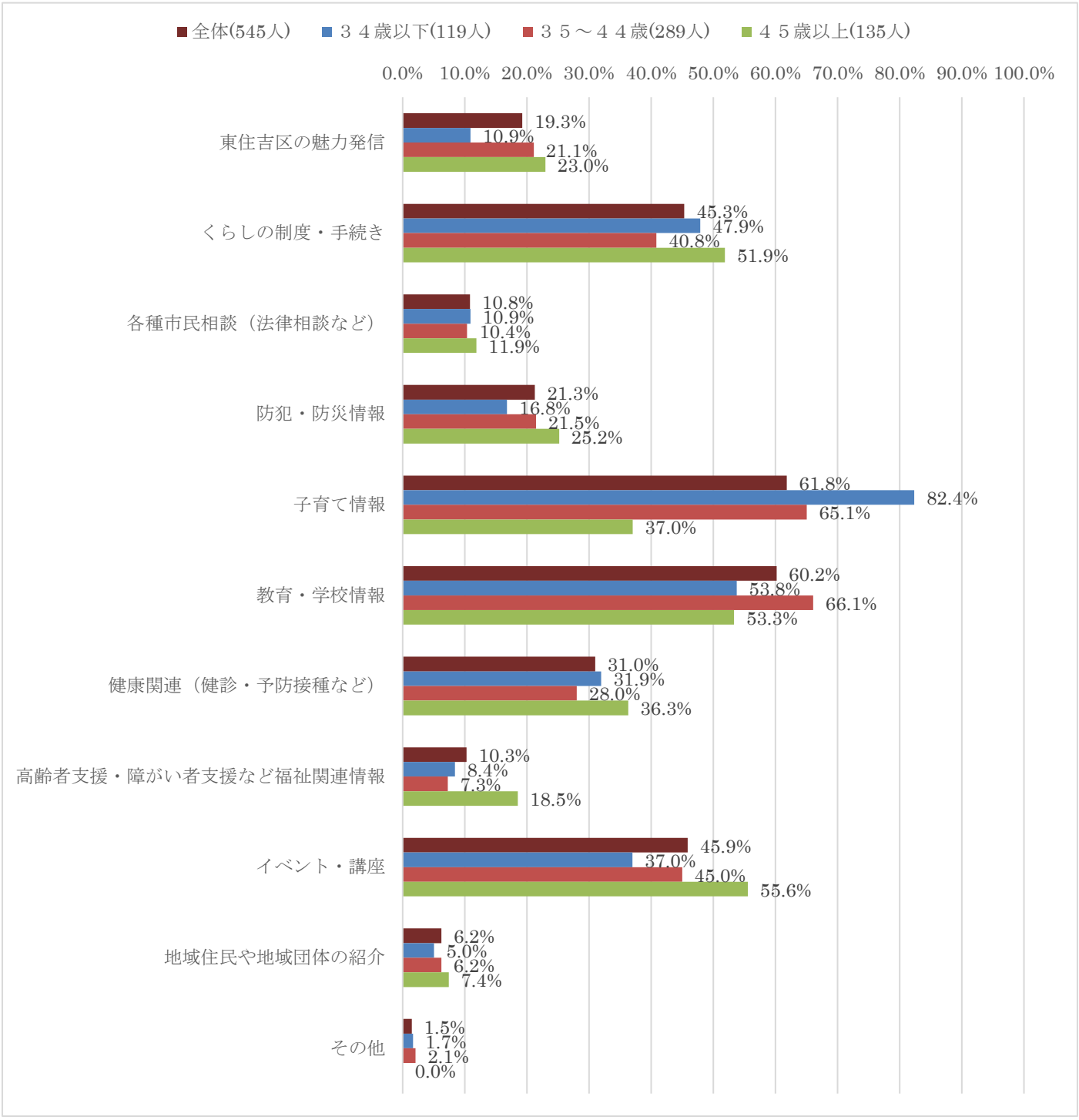
【問13】区広報紙「広報東住吉なでしこ」や区ホームページ、公式 SNS 等の情報発信でどのような内容を充実してほしいですか。（〇はいくつでも）

- 充実してほしい情報は、「子育て情報」が61.8%と最多となりました。
- 男女別に見ると、『男性』は「くらしの制度・手続き」が55.1%と最も多く、『女性』は「子育て情報」が63.9%と最も多い結果となりました。
- 年代別に回答した割合が多い項目を見ると、『34歳以下』は「子育て情報」が82.4%、『35～44歳』は「教育・学校情報」が66.1%、『45歳以上』は「イベント・講座」が55.6%となりました。

項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	東住吉区の魅力発信	105	19.3%	21	83
2	くらしの制度・手続き	247	45.3%	54	187
3	各種市民相談（法律相談など）	59	10.8%	14	43
4	防犯・防災情報	116	21.3%	25	90
5	子育て情報	337	61.8%	51	280
6	教育・学校情報	328	60.2%	50	272
7	健康関連（健診・予防接種など）	169	31.0%	28	138
8	高齢者支援・障がい者支援など福祉関連情報	56	10.3%	11	44
9	イベント・講座	250	45.9%	36	213
10	地域住民や地域団体の紹介	34	6.2%	8	26
11	その他	8	1.5%	3	5
	無回答	23	4.2%	6	16
全体		545	-	98	438



	東住吉区の魅力発信	くらしの制度・手続き	各種市民相談（法律相談など）	防犯・防災情報	子育て情報	教育・学校情報	健康関連（健診・予防接種など）	高齢者支援・障がい者支援など福祉関連情報	イベント・講座	地域住民や地域団体の紹介	その他
全体(545人)	19.3%	45.3%	10.8%	21.3%	61.8%	60.2%	31.0%	10.3%	45.9%	6.2%	1.5%
男性(98人)	21.4%	55.1%	14.3%	25.5%	52.0%	51.0%	28.6%	11.2%	36.7%	8.2%	3.1%
女性(438人)	18.9%	42.7%	9.8%	20.5%	63.9%	62.1%	31.5%	10.0%	48.6%	5.9%	1.1%



その他の理由(一部抜粋)

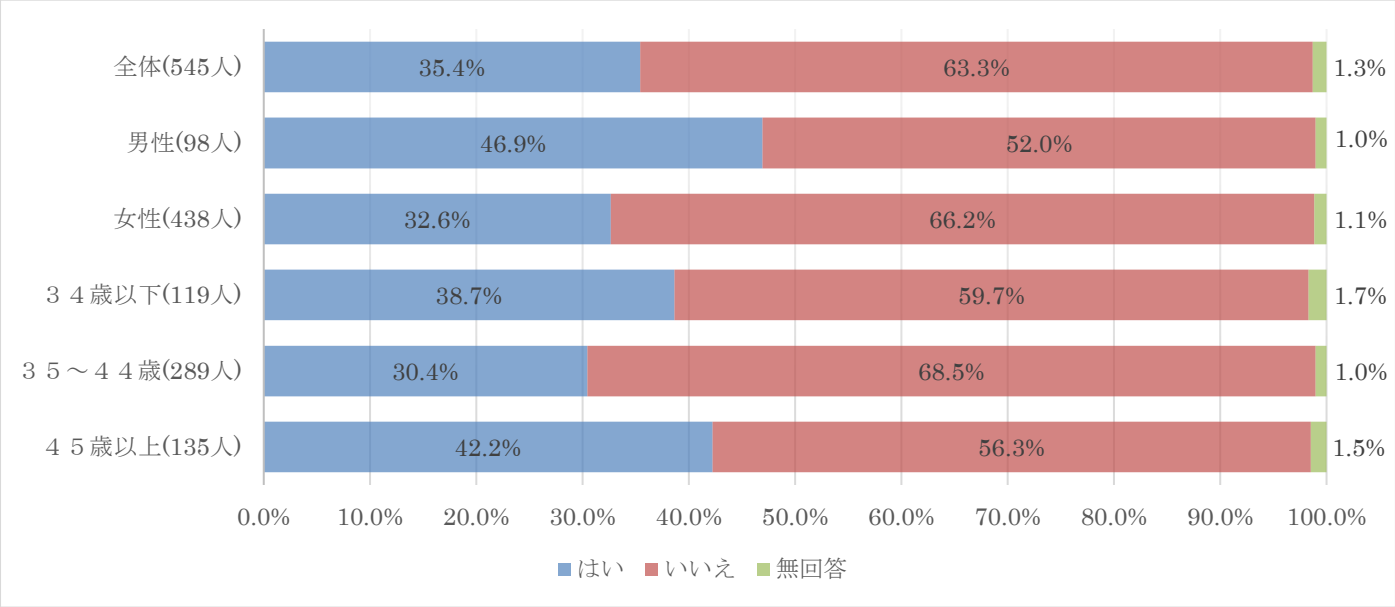
内容
住宅ローンに関する情報
地域の隠れた名店
小児科など病院の紹介

４．健康づくりについて

【問14】1日に食べている野菜の量は目標量(成人1日 350g)に対して十分な量だと思いますか。問 14～17 は、回答者ご本人様についてお答えください。(1つだけ)

- 「はい」が35.4%、「いいえ」が63.3%となりました。
- 男女別に見ると、『男性』で「はい」が46.9%と、『女性』より高くなっています。
- 年代別で見ると、『45歳以上』で「はい」が42.2%と、他の年代より高くなっています。

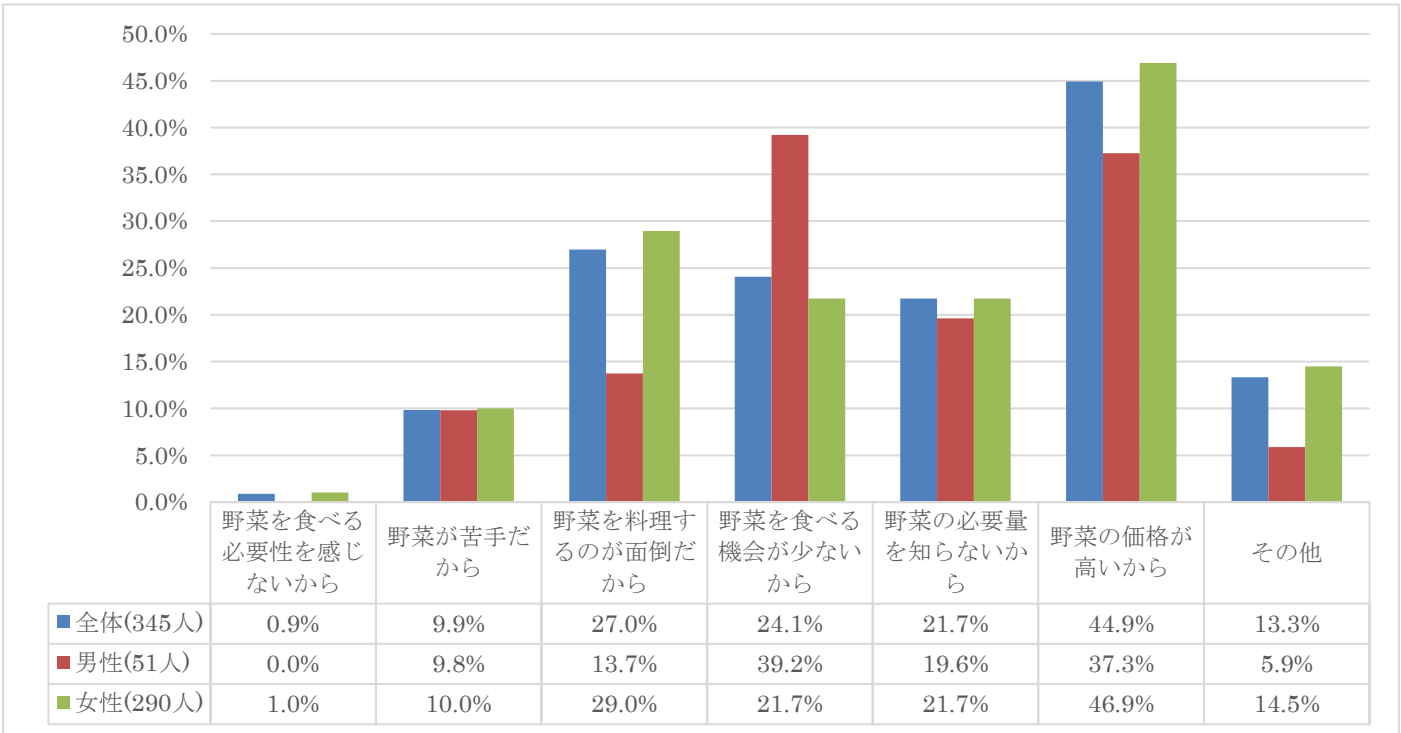
項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	はい	193	35.4%	46	143
2	いいえ	345	63.3%	51	290
	無回答	7	1.3%	1	5
全体		545	-	98	438

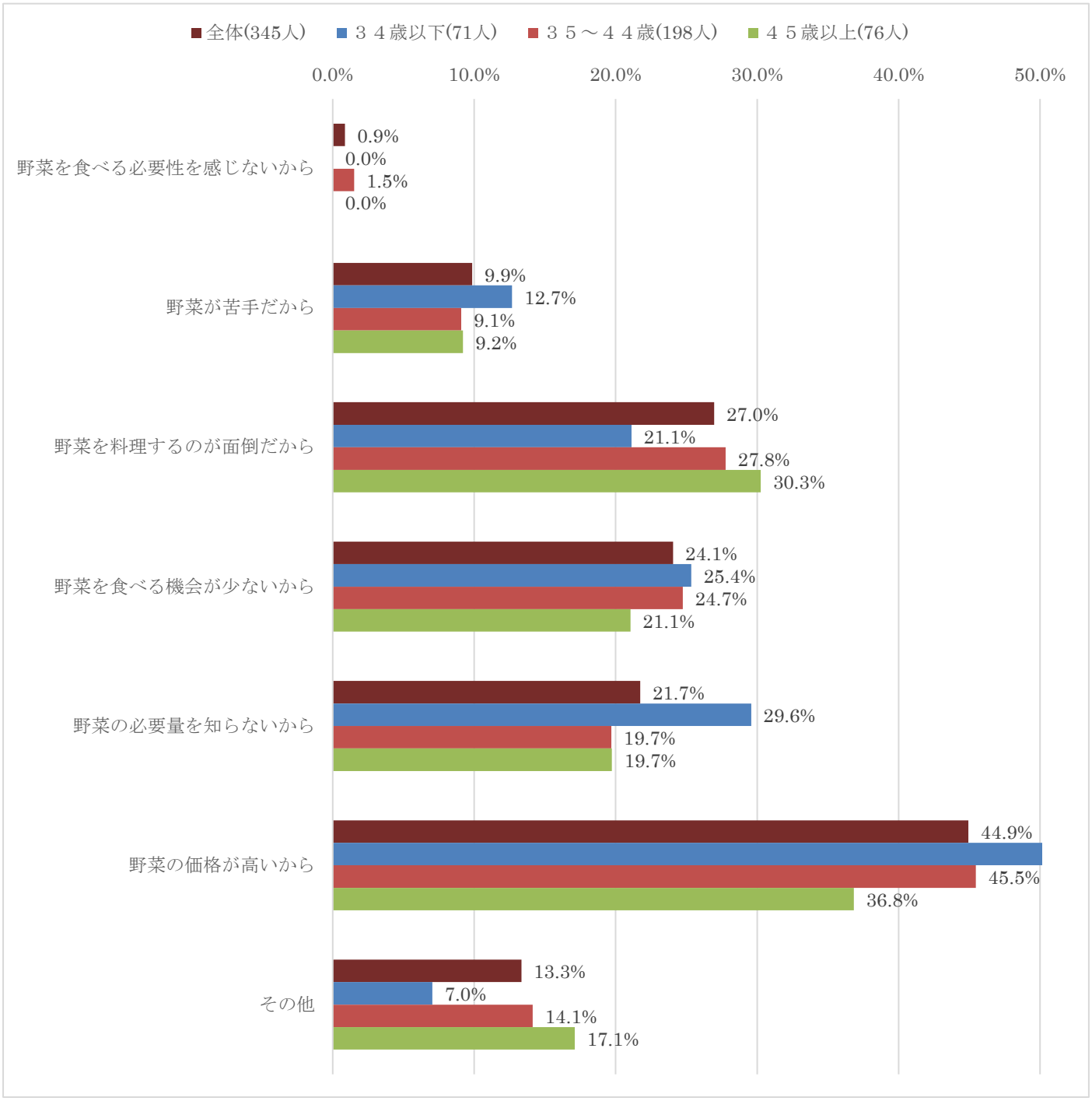


【問15】問14で「2　いいえ」を選ばれた方にお聞きします。野菜の摂取量が不足している原因はどのようなことだと思いますか。（〇はいくつでも）

- 「野菜の価格が高いから」が44.9%と最も多く、次いで「野菜を料理するのが面倒だから」が27.0%、「野菜を食べる機会が少ないから」が24.1%となりました。
- 男女別で見ると、『女性』は「野菜の価格が高いから」が46.9%と最も多く、『男性』は「野菜を食べる機会が少ないから」が最も多い結果となりました。
- 年代別に見ると、全年代共通で「野菜の価格が高いから」が一番多く、「野菜を料理するのが面倒だから」が『35～44歳』は27.8%、『45歳以上』は30.3%となりました。『34歳以下』では「野菜の必要量を知らないから」が29.6%となりました。

項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	野菜を食べる必要性を感じないから	3	0.9%	0	3
2	野菜が苦手だから	34	9.9%	5	29
3	野菜を料理するのが面倒だから	93	27.0%	7	84
4	野菜を食べる機会が少ないから	83	24.1%	20	63
5	野菜の必要量を知らないから	75	21.7%	10	63
6	野菜の価格が高いから	155	44.9%	19	136
7	その他	46	13.3%	3	42
	無回答	3	0.9%	0	3
全体		345	-	51	290




全体(345人)
３４歳以下(71人)
３５～４４歳(198人)
４５歳以上(76人)
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
50.0%
野菜を食べる必要性を感じないから
0.9%
0.0%
1.5%
0.0%
野菜が苦手だから
9.9%
12.7%
9.1%
9.2%
野菜を料理するのが面倒だから
27.0%
21.1%
27.8%
30.3%
野菜を食べる機会が少ないから
24.1%
25.4%
24.7%
21.1%
野菜の必要量を知らないから
21.7%
29.6%
19.7%
19.7%
野菜の価格が高いから
44.9%
45.5%
36.8%
その他
13.3%
7.0%
14.1%
17.1%

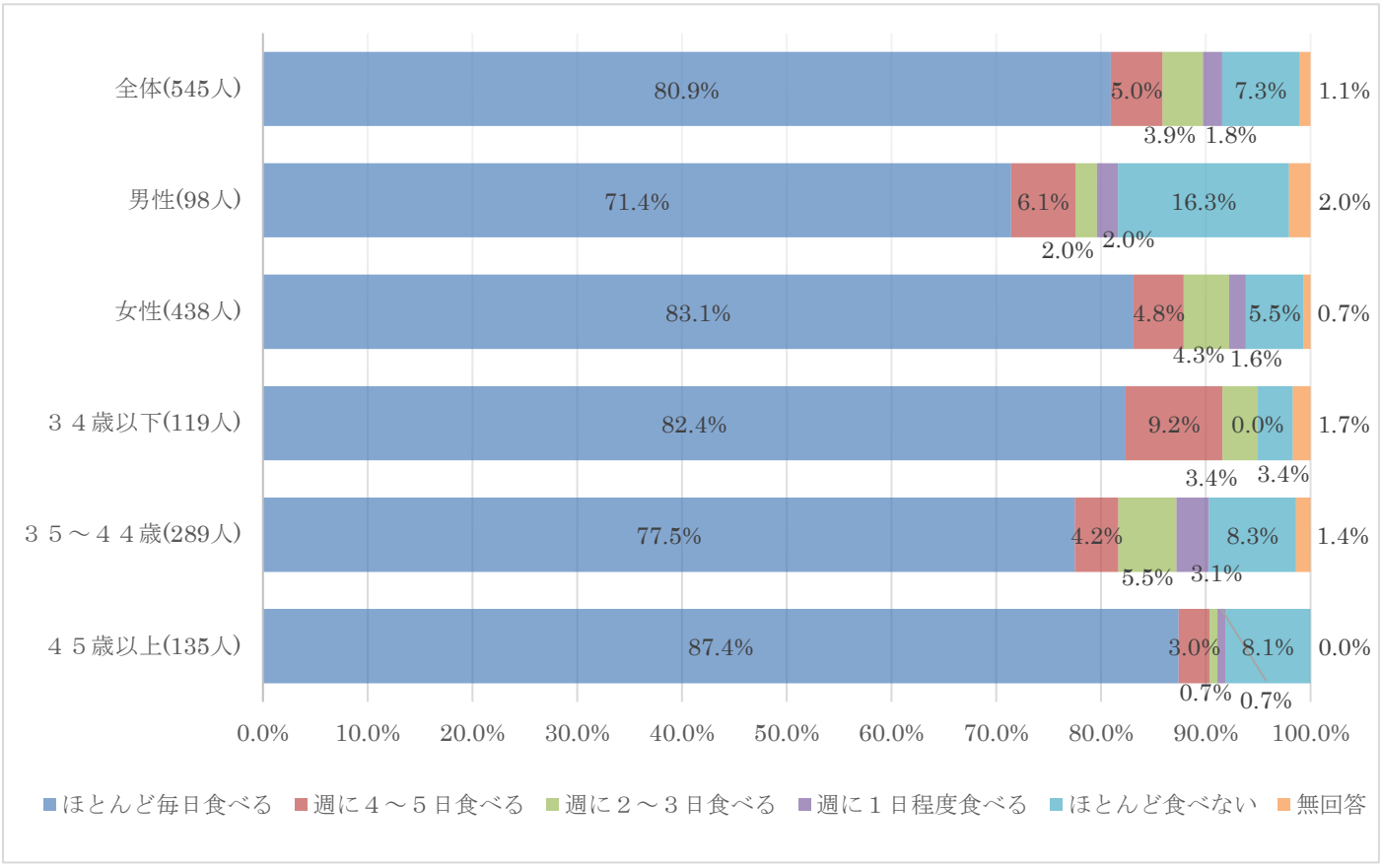
その他の理由（一部抜粋）

内容
摂るように心がけているが、足りていない。かたよりがある
大量には食べられない
育児優先で、作るのが大変、手間をかけられない
料理をする時間が無い
子ども優先のため
必要量を料理できない
育児優先で、食べる時間が無い
食べたいときに食べたいものを食べるから
外食が多いから
夕食しか取る機会が無いから量が減る
子どもの好き嫌いがある
自分一人の時はかんたんに済ませることが多い
摂取量が少ないというより食品の種類がもう少し必要だと思っている
家族 5 人で割るのでどうしても 1 人量が限られる
時間が無く、睡眠を優先するため
お菓子が食べたくなる
朝食の野菜量が少ないから
昼は特に簡単に済ませがち

【問16】普段朝食を食べていますか。(1つだけ)

- 「ほとんど毎日食べる」が80.9%と最も多く、次いで「ほとんど食べない」が7.3%となりました。
- 男女別で見ると、『男性』は「ほとんど毎日食べる」が71.4%、「ほとんど食べない」が16.3%となりました。
- 『女性』は「ほとんど毎日食べる」が 83.1%、「ほとんど食べない」が 5.5%となりました。
- 年代別に見ると、全年代共通で「ほとんど毎日食べる」が最も多い結果となりました。また、次に多い割合は年代別で分かれており、『34歳以下』は「週に4～5日食べる」が9.2%、『35～44歳』は「週に2～3日食べる」が5.5%、『45歳以上』が「ほとんど食べない」が8.1%となりました。

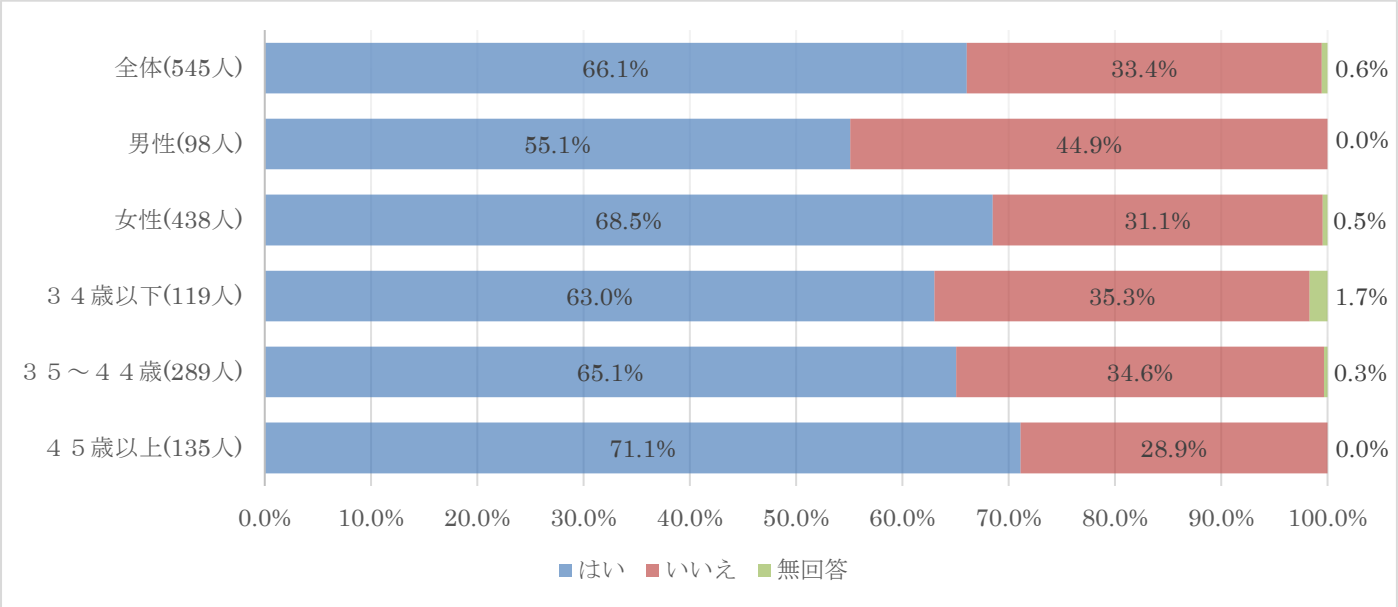
項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	ほとんど毎日食べる	441	80.9%	70	364
2	週に4～5日食べる	27	5.0%	6	21
3	週に2～3日食べる	21	3.9%	2	19
4	週に1日程度食べる	10	1.8%	2	7
5	ほとんど食べない	40	7.3%	16	24
	無回答	6	1.1%	2	3
全体		545	-	98	438



【問17】生活習慣病の予防や改善のために、適正体重の維持や減塩に気を付けた食生活を送っていますか。(1つだけ)

- 「はい」が66.1%、「いいえ」が33.4%となりました。
- 男女別に見ると、『男性』で「はい」と回答された割合が55.1%、『女性』で「はい」と回答された割合は68.5%となりました。
- 年代別に「はい」と回答された割合を見ると、『34歳以下』は63.0%、『35～44歳』は65.1%、『45歳以上』は71.1%となりました。

項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	はい	360	66.1%	54	300
2	いいえ	182	33.4%	44	136
	無回答	3	0.6%	0	2
全体		545	-	98	438

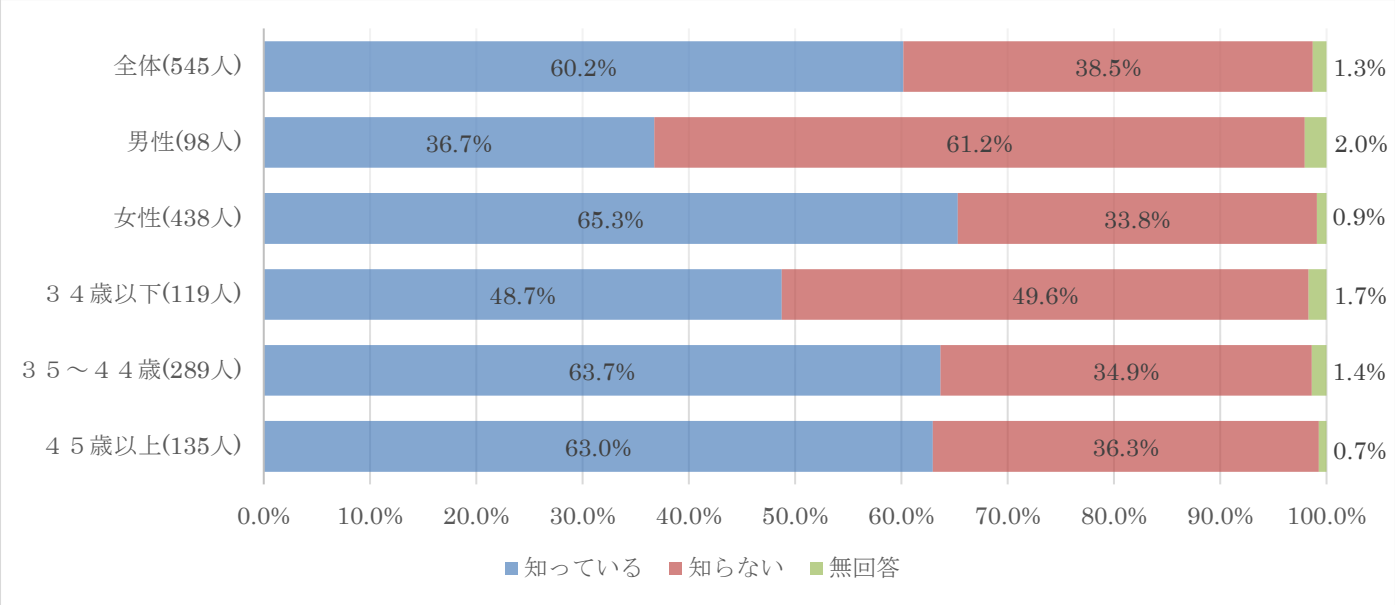


５．「子ども食堂」などの子どもの居場所について

【問18】「子ども食堂」などの子どもの居場所の取組が、東住吉区内にもあることはご存じですか。（1つだけ）

- 「知っている」が60.2%、「知らない」が38.5%となりました。
- 男女別に見ると、『男性』は「知らない」が61.2%で、『女性』は「知っている」が65.3%と、『女性』が「知っている」と回答した割合が多く、『男性』は「知らない」人が多い結果となりました。
- 年代別に見ると、『35～44歳』と『45歳以上』では「知っている」と回答された割合が多く、『34歳以下』では「知らない」と回答された割合が多い結果となりました。

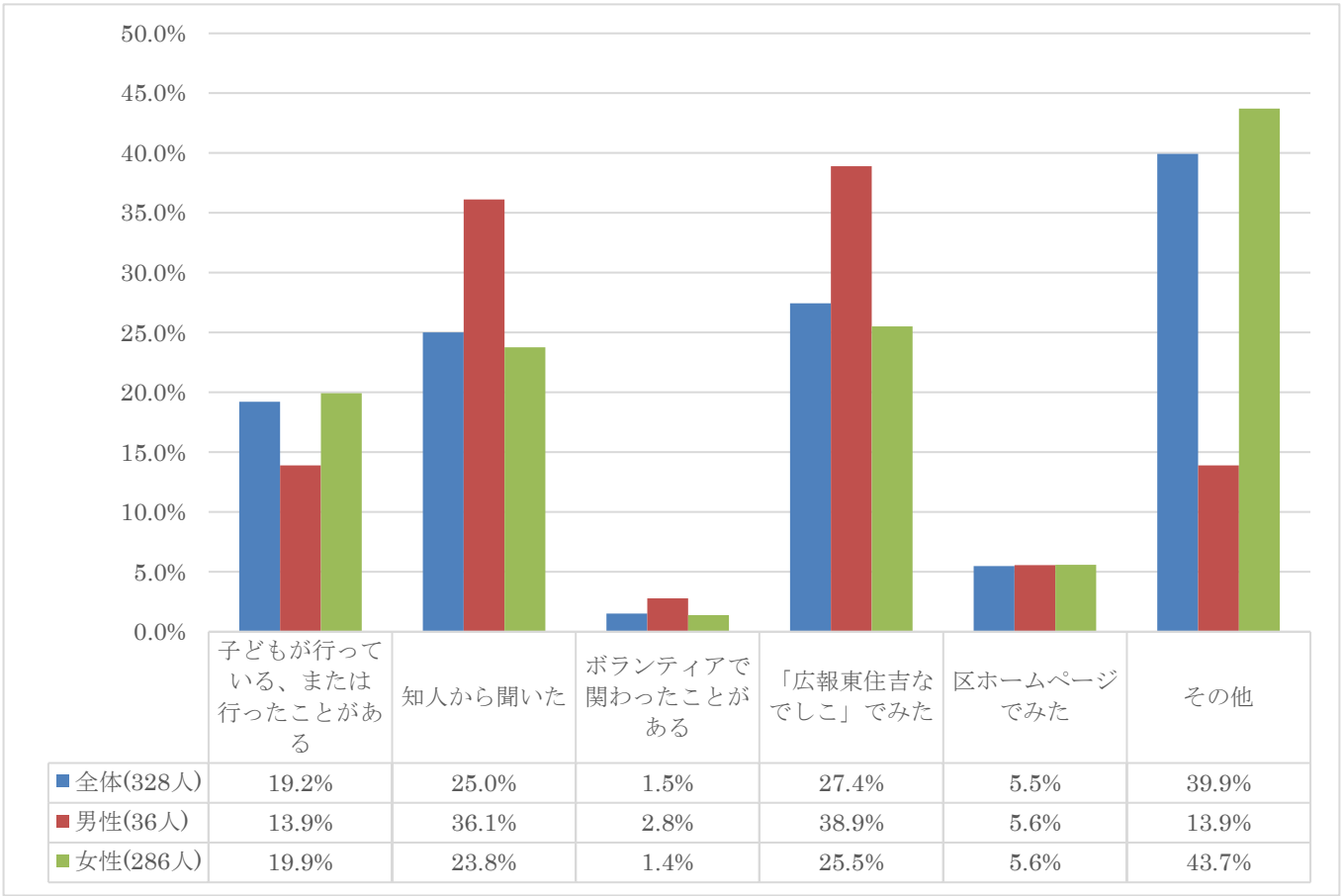
項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	知っている	328	60.2%	36	286
2	知らない	210	38.5%	60	148
	無回答	7	1.3%	2	4
全体		545	-	98	438



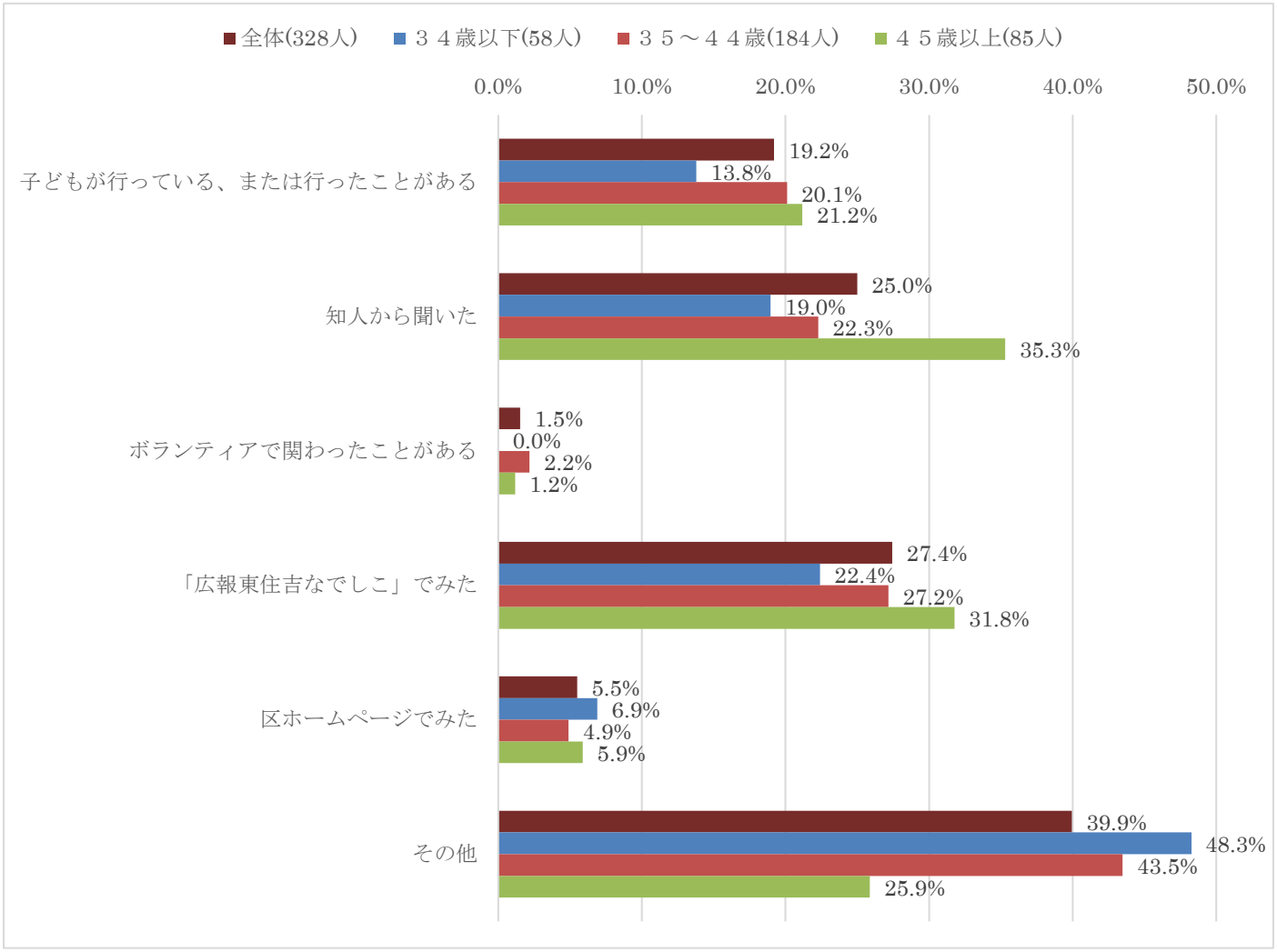
【問19】問 18 で「1　知っている」を選ばれた方にお聞きします。
「子ども食堂」などの子どもの居場所を、どのようにして知りましたか。（○はいくつでも）

- 「その他」が39.9%と最も多く、次いで「「広報東住吉なでしこ」でみた」が27.4%、「知人から聞いた」が25.0%となりました。「その他」で多く寄せられた意見としては、「たまたま前を通り掛かって知った」、「チラシを見て知った」、「近所だから」などがあります。
- 男女別に見ると、「「広報住吉なでしこ」でみた」と回答された割合が、『男性』は38.9%、『女性』は25.5%となっています。
- 年代別に見ると、『34 歳以下』と『35～44 歳』では「その他」と回答された割合が多く、『45 歳以上』では「知人から聞いた」と回答された割合が多い結果となりました。

項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	子どもが行っている、または行ったことがある	63	19.2%	5	57
2	知人から聞いた	82	25.0%	13	68
3	ボランティアで関わったことがある	5	1.5%	1	4
4	「広報東住吉なでしこ」でみた	90	27.4%	14	73
5	区ホームページでみた	18	5.5%	2	16
6	その他	131	39.9%	5	125
	無回答	2	0.6%	0	2
全体		328	-	36	286



	子どもが行っている、または行ったことがある	知人から聞いた	ボランティアで関わったことがある	「広報東住吉なでしこ」でみた	区ホームページでみた	その他
全体(328人)	19.2%	25.0%	1.5%	27.4%	5.5%	39.9%
男性(36人)	13.9%	36.1%	2.8%	38.9%	5.6%	13.9%
女性(286人)	19.9%	23.8%	1.4%	25.5%	5.6%	43.7%



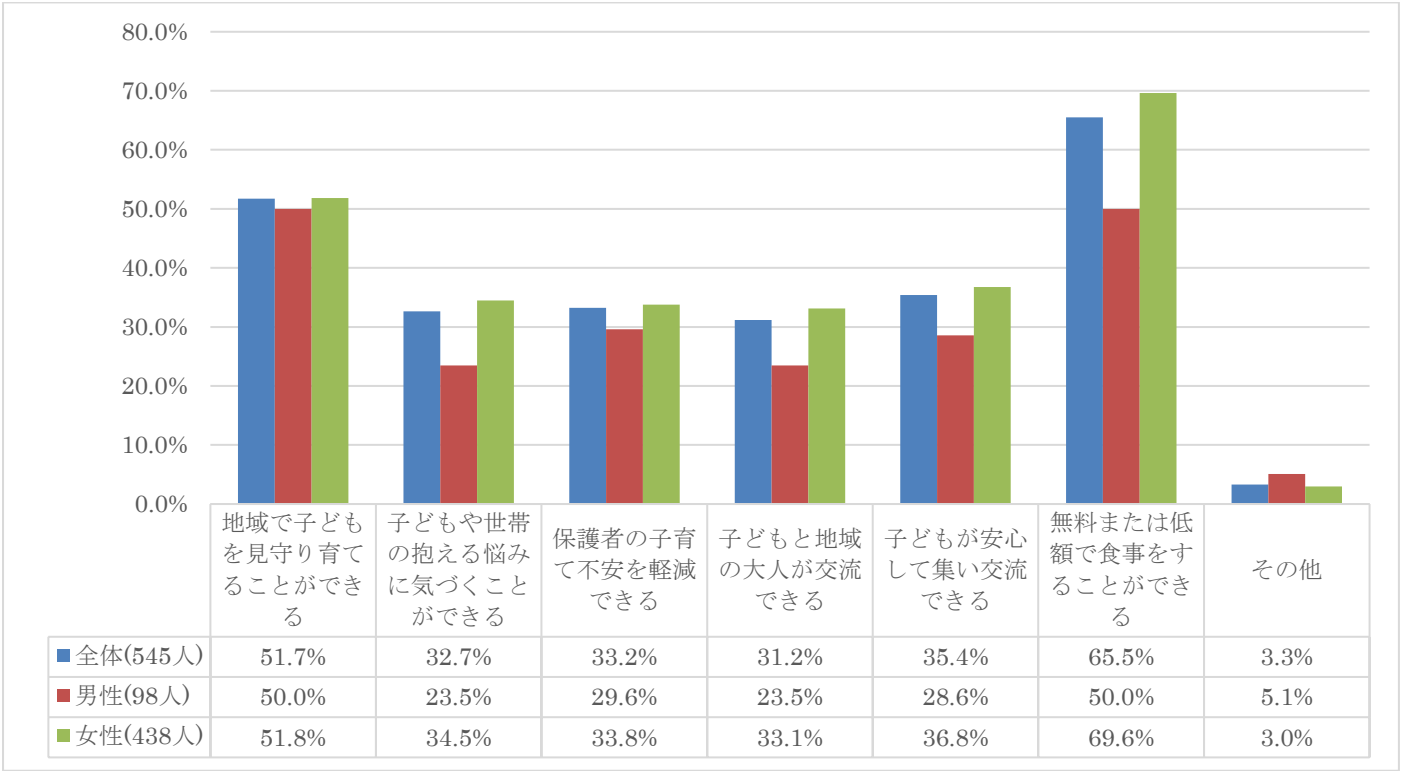
その他の理由(一部抜粋)

内容
街で見かけた事がある
学校の配布物
近所にある
掲示板
チラシ
テレビ
回覧板
保育園で知った
SNS
家族や知人がボランティアをしている
前回のアンケート
子どもから聞いた

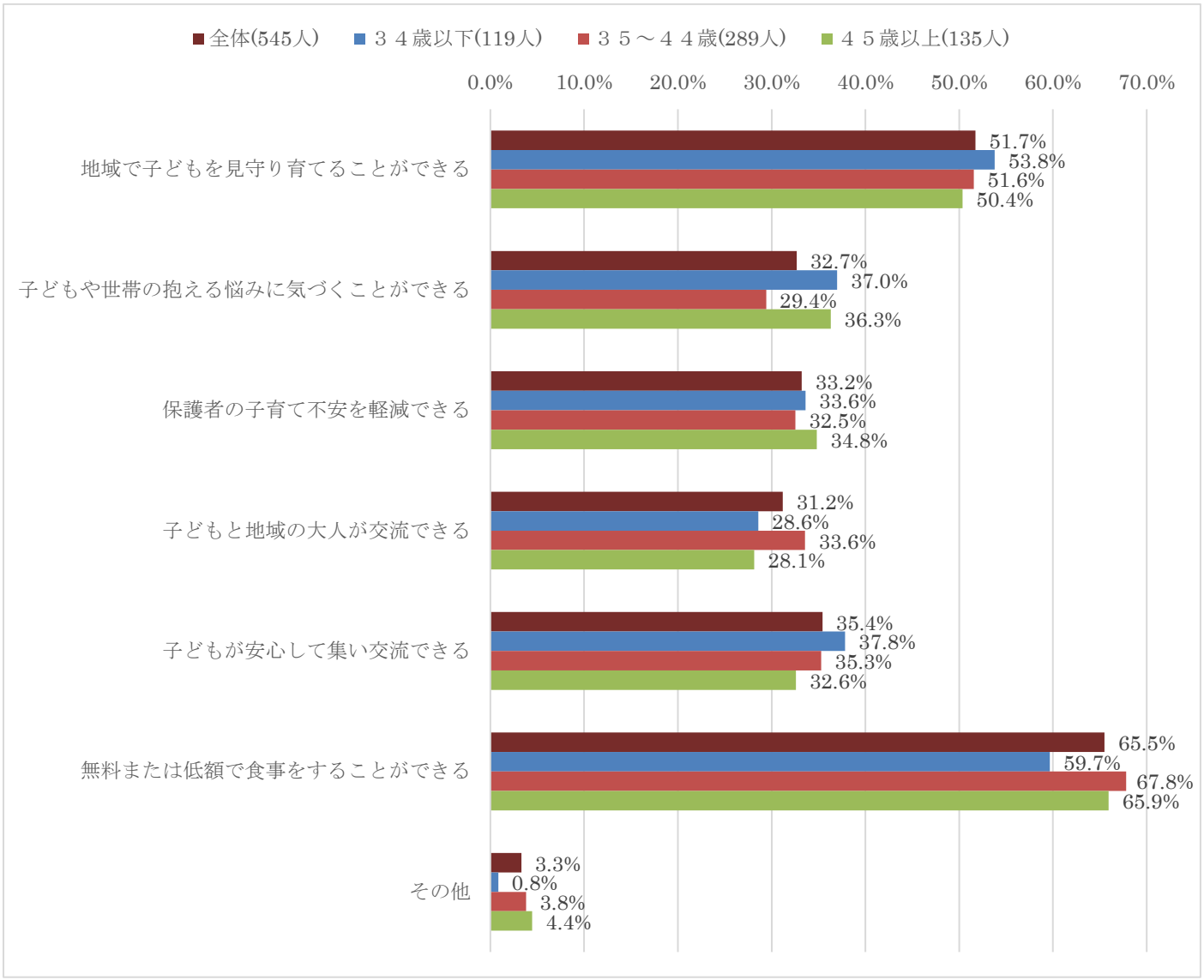
【問20】「子ども食堂」などの子どもの居場所がどのような機能・役割を果たしていると思いますか。(○はいくつでも)

- 「無料または低額で食事をすることができる」が65.5%、「地域で子どもを見守り育てることができる」が51.7%、「子どもが安心して集い交流できる」が35.4%となりました。
- 男女別に見ると、『男性』では「地域で子どもを見守り育てることができる」と「無料または低額で食事をすることができる」に回答した割合が50.0%と最も多く、『女性』では「無料または低額で食事をすることができる」が69.6%となりました。
- 年代別に見ると、全年代共通で「無料または低額で食事をすることができる」が最も多く、次いで「地域で子どもを見守り育てることができる」が多い結果となりました。

項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	地域で子どもを見守り育てることができる	282	51.7%	49	227
2	子どもや世帯の抱える悩みに気づくことができる	178	32.7%	23	151
3	保護者の子育て不安を軽減できる	181	33.2%	29	148
4	子どもと地域の大人が交流できる	170	31.2%	23	145
5	子どもが安心して集い交流できる	193	35.4%	28	161
6	無料または低額で食事をすることができる	357	65.5%	49	305
7	その他	18	3.3%	5	13
	無回答	20	3.7%	8	11
全体		545	-	98	438



	地域で子どもを見守り育てることができる	子どもや世帯の抱える悩みに気づくことができる	保護者の子育て不安を軽減できる	子どもと地域の大人が交流できる	子どもが安心して集い交流できる	無料または低額で食事をすることができる	その他
全体(545人)	51.7%	32.7%	33.2%	31.2%	35.4%	65.5%	3.3%
男性(98人)	50.0%	23.5%	29.6%	23.5%	28.6%	50.0%	5.1%
女性(438人)	51.8%	34.5%	33.8%	33.1%	36.8%	69.6%	3.0%



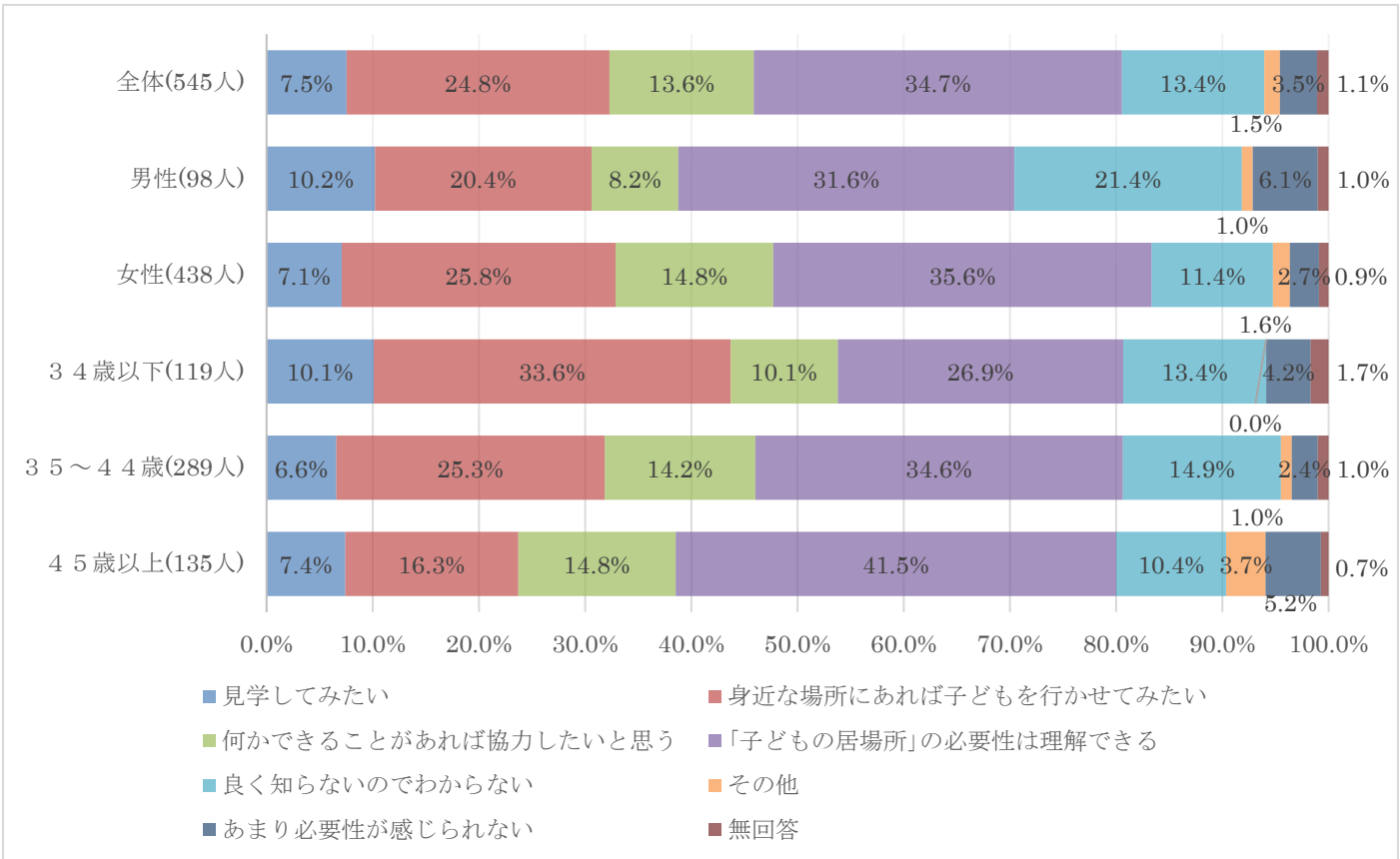
その他の理由（一部抜粋）

内容
テイクアウトしかないので交流は期待できない
子どもの居場所になる
いろんな遊び、工作ができる、教えてくれる
貧困層の子どもたちに栄養面の食育だけではなく、社会的なサポートができる
仕事に行くのが早い世帯の朝の居場所づくり

【問21】「子ども食堂」などの子どもの居場所への関わりについて、あなたの考えにあてはまるものを選んでください。（あなたの考えに一番近いものを１つ選び○をつけてください）

- 「「子どもの居場所」の必要性は理解できる」が34.7%と最も多く、次いで「身近な場所にあれば子どもを行かせてみたい」が24.8%、「何かできることがあれば協力したいと思う」が13.6%となりました。
- 男女別で見ると、「「子どもの居場所」の必要性は理解できる」と回答された割合は『女性』が35.6%で、『男性』が31.6%となりました。
- 年代別で最も多い項目の割合を見ると、「「子どもの居場所」の必要性は理解できる」と回答された割合は『35～44歳』が34.6%、『45歳以上』が41.5%で『34歳以下』は「身近な場所にあれば子どもを行かせてみたい」が33.6%となりました。

項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	見学してみたい	41	7.5%	10	31
2	身近な場所にあれば子どもを行かせてみたい	135	24.8%	20	113
3	何かできることがあれば協力したいと思う	74	13.6%	8	65
4	「子どもの居場所」の必要性は理解できる	189	34.7%	31	156
5	良く知らないのでわからない	73	13.4%	21	50
6	その他	8	1.5%	1	7
7	あまり必要性が感じられない	19	3.5%	6	12
	無回答	6	1.1%	1	4
全体		545	-	98	438



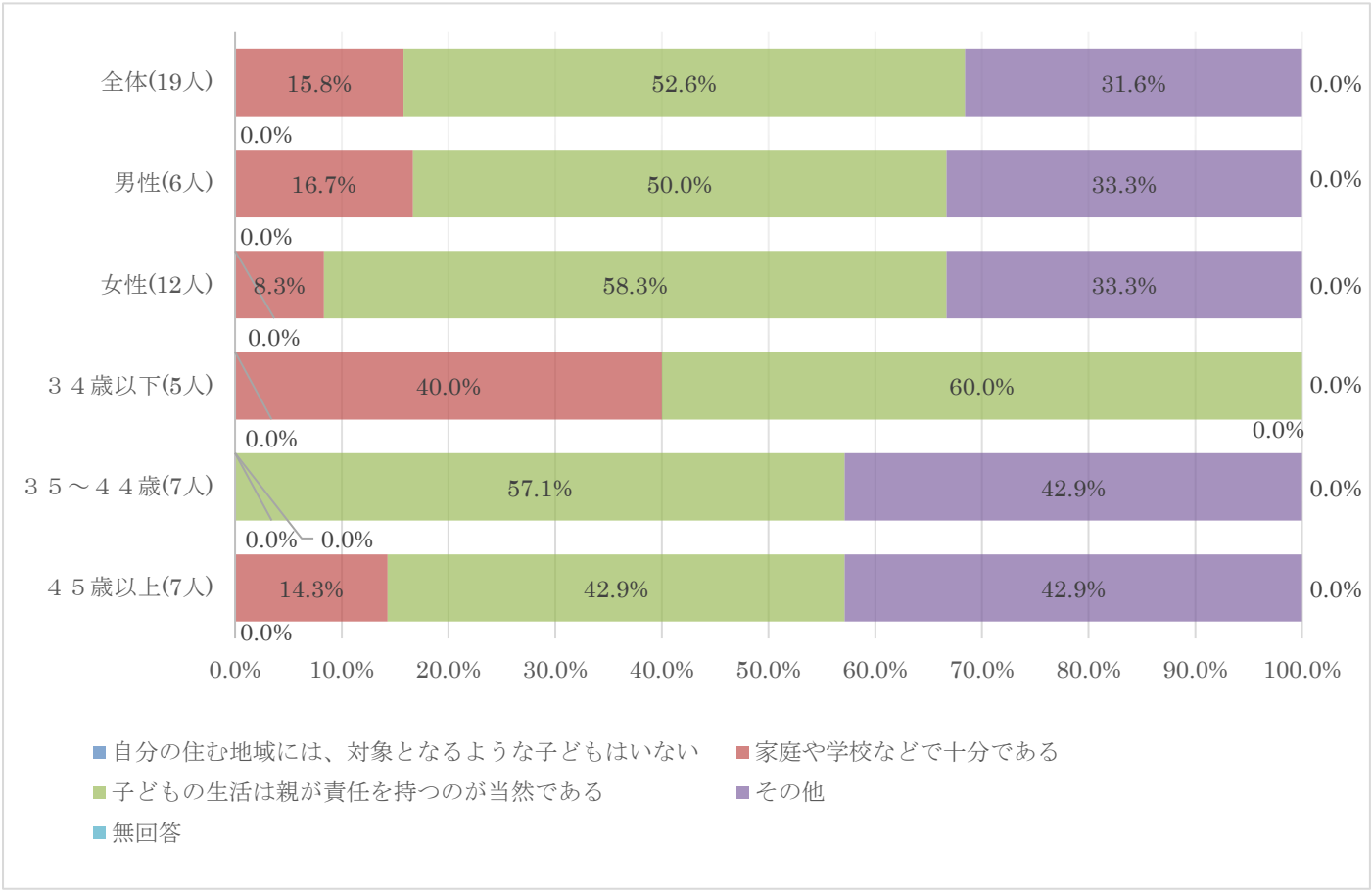
その他の理由（一部抜粋）

内容
子どもの居場所的な感じはしない
何歳まで利用できるのかよくわからない
必要とする人たちの為に存続頑張って下さい
お金のない人が行くイメージがあるので利用しにくい
親が共働きで子どもが１人で食事を食べずにすむ環境を作っていると思っている

【問22】問 21 で「7　あまり必要性が感じられない」を選ばれた方にお聞きします。
問 21 の選択肢を選ばれた理由を教えてください。
（あなたの考えに一番近いものを 1 つ選び〇をつけてください）

- 「子どもの生活は親が責任を持つのが当然である」が 52.6%と最も多く、次いで「その他」が 31.6%、「家庭や学校などで十分である」が 15.8%となりました。
- 男女別に見ると、『男性』、『女性』どちらも「子どもの生活は親が責任を持つのが当然である」が最も多い結果となりました。
- 年代別に見ると、全年代共通で「子どもの生活は親が責任を持つのが当然である」と回答した割合が最も多い結果となりました。

項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	自分の住む地域には、対象となるような子どもはいない	0	0.0%	0	0
2	家庭や学校などで十分である	3	15.8%	1	1
3	子どもの生活は親が責任を持つのが当然である	10	52.6%	3	7
4	その他	6	31.6%	2	4
	無回答	0	0.0%	0	0
全体		19	-	6	12



その他の理由（一部抜粋）

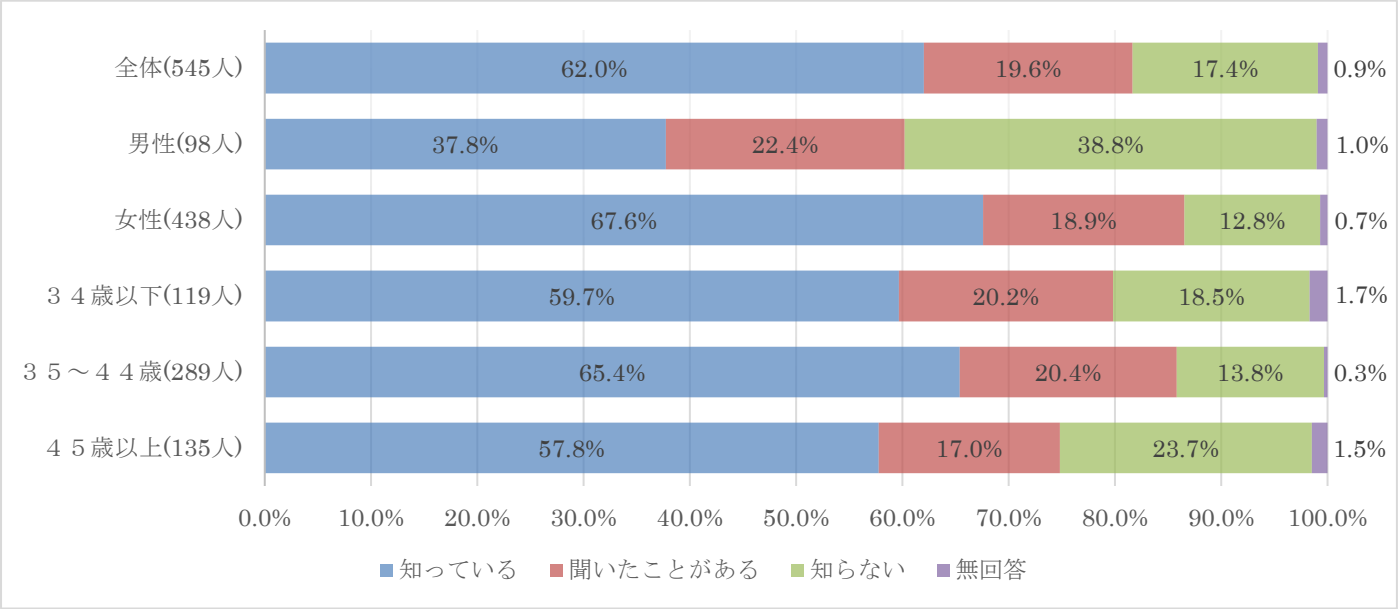
内容
子ども自身が知的障がいがあり、それらの施設を活用できない
特定の日だけなので意味があるのかわからない
特定の子ども中心になり、不公平。交流のない家庭、内気な子は行きにくい
対象となる子どもが実際あまり参加していない（周知できていない）
本当に居場所や支援が必要な家庭の子は来られないと思うから

６．親子サロンについて

【問23】東住吉区内の各地域にある会館等で、就学前のお子様を対象に、保護者同士が交流できる場として開催されている「親子サロン」を知っていますか。（1つだけ）

- 親子サロンの認知度は「知っている」が62.0%、「聞いたことがある」が19.6%、「知らない」が17.4%となりました。
- 男女別に見ると、『女性』で「知っている」が 67.6%と『男性』より高くなっています。

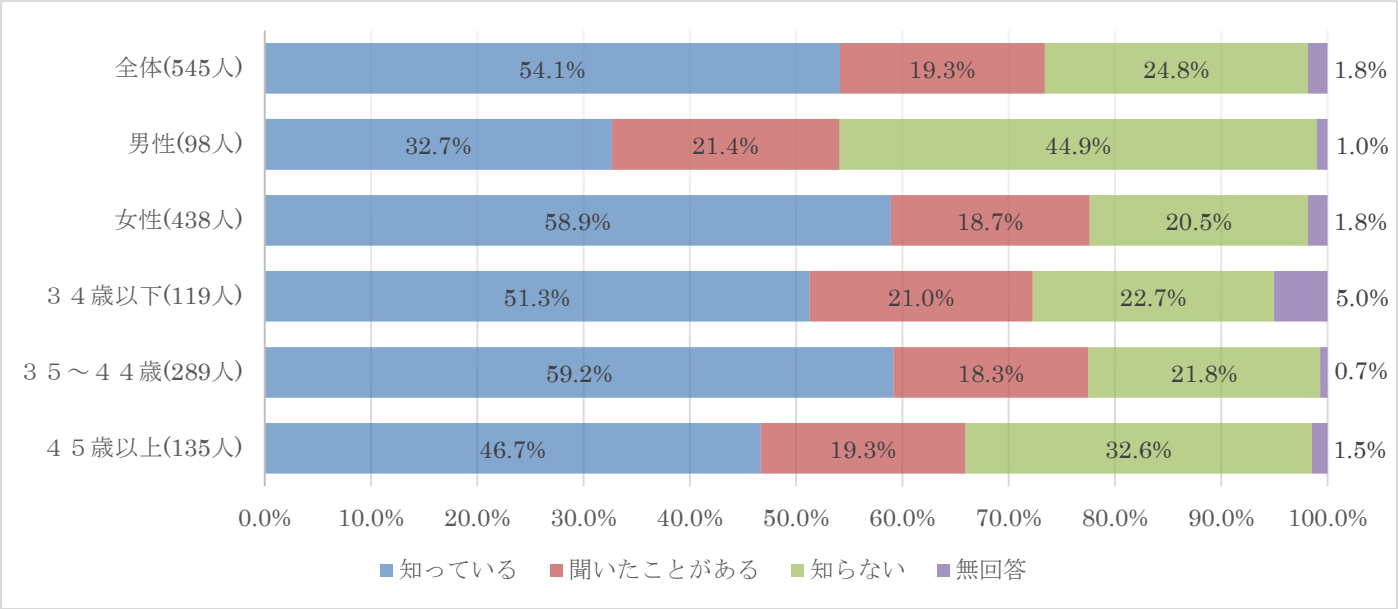
項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	知っている	338	62.0%	37	296
2	聞いたことがある	107	19.6%	22	83
3	知らない	95	17.4%	38	56
	無回答	5	0.9%	1	3
全体		545	-	98	438



【問24】親子サロンでは、保健師による育児相談や健康講座を実施していますが知っていますか。(1つだけ)

- 育児相談や健康講座の認知は、「知っている」が54.1%、「知らない」が24.8%となりました。
- 男女別に見ると、『女性』で「知っている」が58.9%と、『男性』より高くなっています。

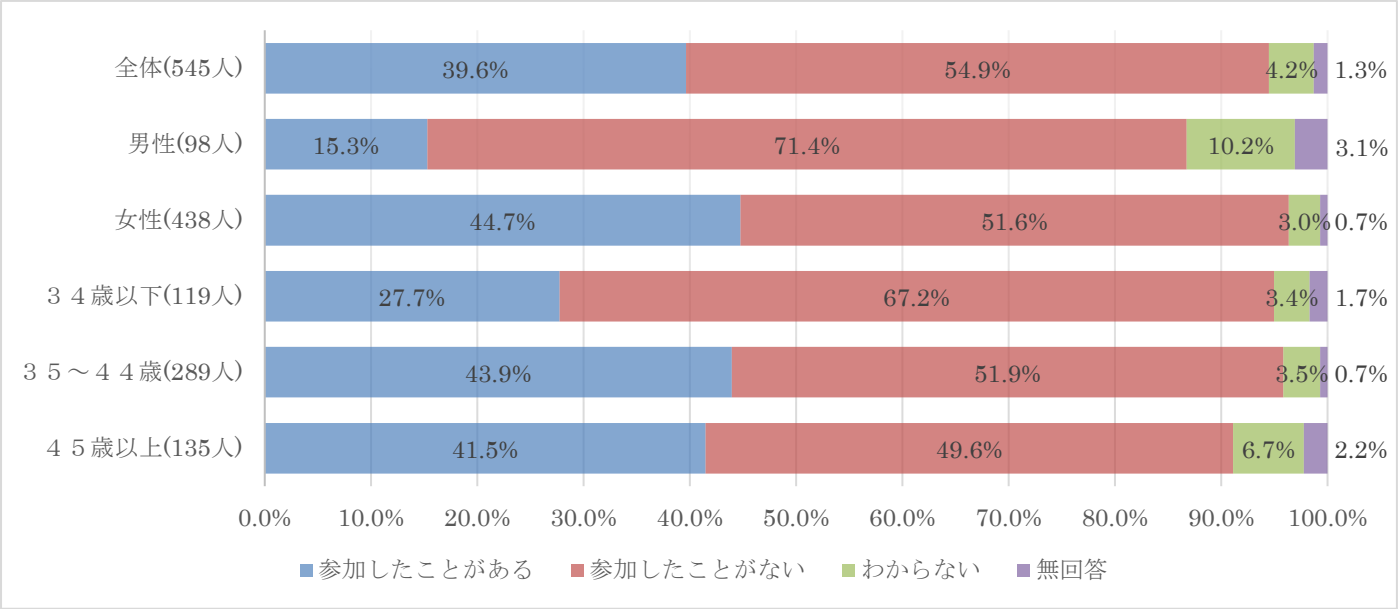
項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	知っている	295	54.1%	32	258
2	聞いたことがある	105	19.3%	21	82
3	知らない	135	24.8%	44	90
	無回答	10	1.8%	1	8
全体		545	-	98	438



【問25】地域で開催されている親子サロンに参加されたことがありますか。(1つだけ)

- 親子サロンに、「参加したことがある」は39.6%となりました。
- 男女別で見ると、『女性』で「参加したことがある」が44.7%と『男性』より高くなっています。

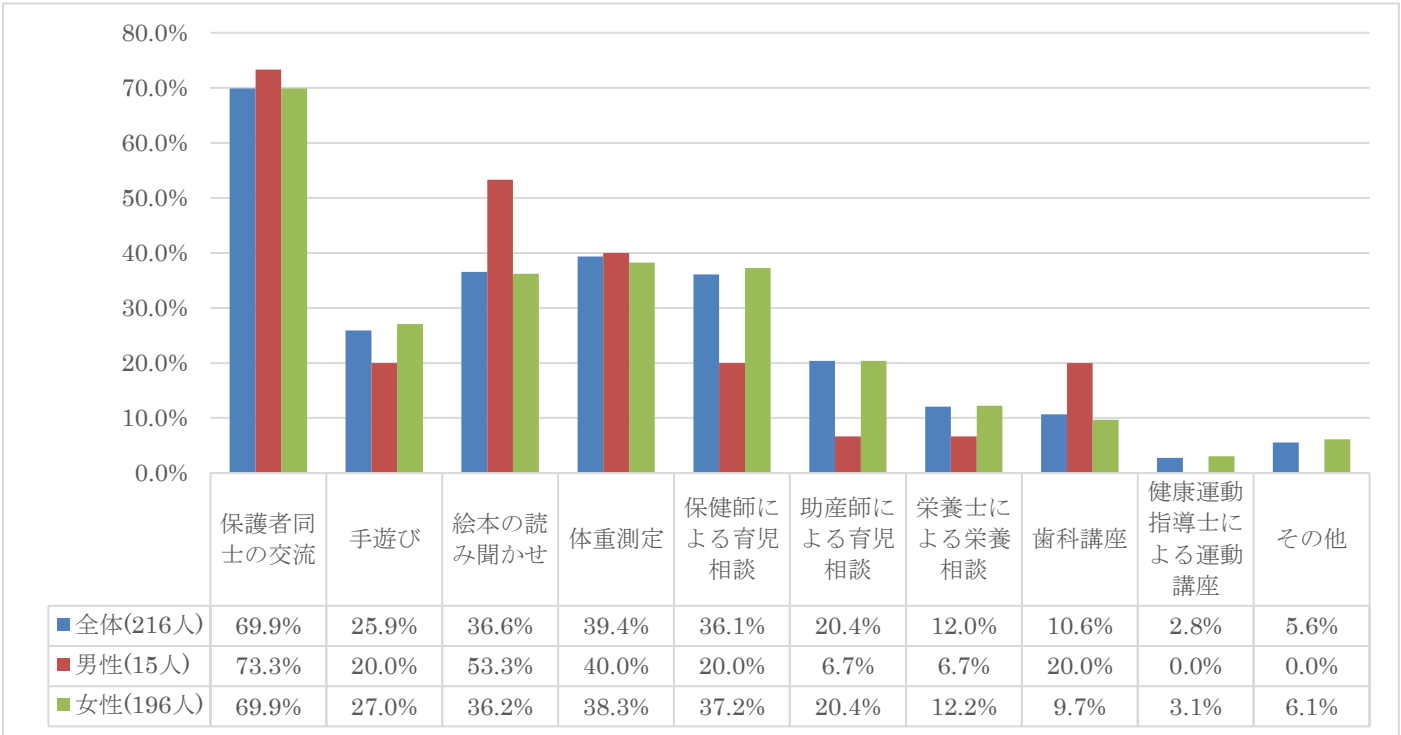
項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	参加したことがある	216	39.6%	15	196
2	参加したことがない	299	54.9%	70	226
3	わからない	23	4.2%	10	13
	無回答	7	1.3%	3	3
全体		545	-	98	438



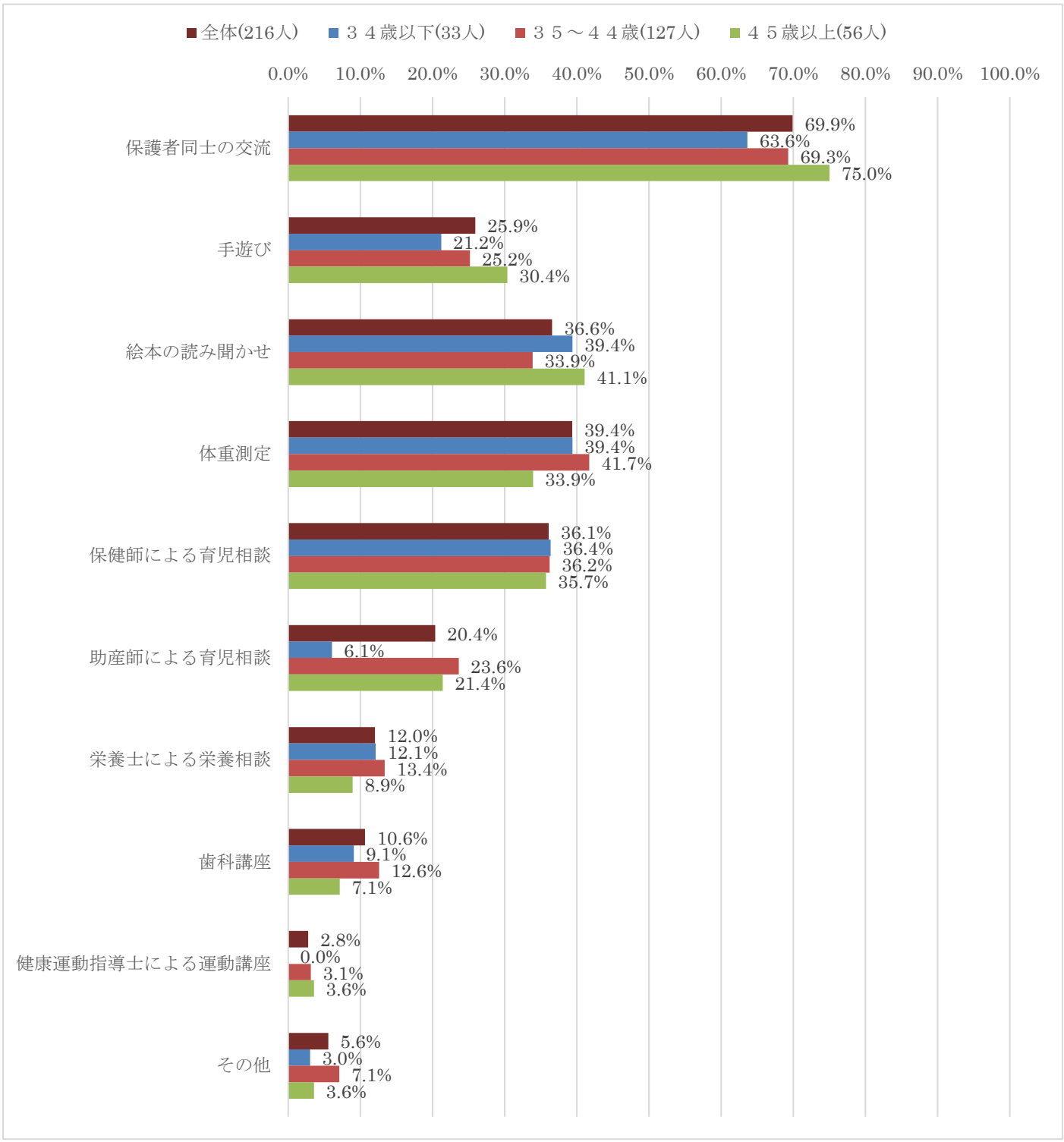
【問26】問 25 で「1参加したことがある」を選ばれた方にお聞きします。
親子サロンで印象に残っていることは何ですか。該当する番号を全て選んでください。(○はいくつでも)

- 「保護者同士の交流」が69.9%となりました。次いで、「体重測定」が39.4%、「絵本の読み聞かせ」が36.6%となりました。
- 年代別に見ると、どの年代でも「保護者同士の交流」が最も多く、『45歳以上』で75.0%と年代が上がるほど高くなっています。

項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	保護者同士の交流	151	69.9%	11	137
2	手遊び	56	25.9%	3	53
3	絵本の読み聞かせ	79	36.6%	8	71
4	体重測定	85	39.4%	6	75
5	保健師による育児相談	78	36.1%	3	73
6	助産師による育児相談	44	20.4%	1	40
7	栄養士による栄養相談	26	12.0%	1	24
8	歯科講座	23	10.6%	3	19
9	健康運動指導士による運動講座	6	2.8%	0	6
10	その他	12	5.6%	0	12
	無回答	2	0.9%	0	2
全体		216	-	15	196



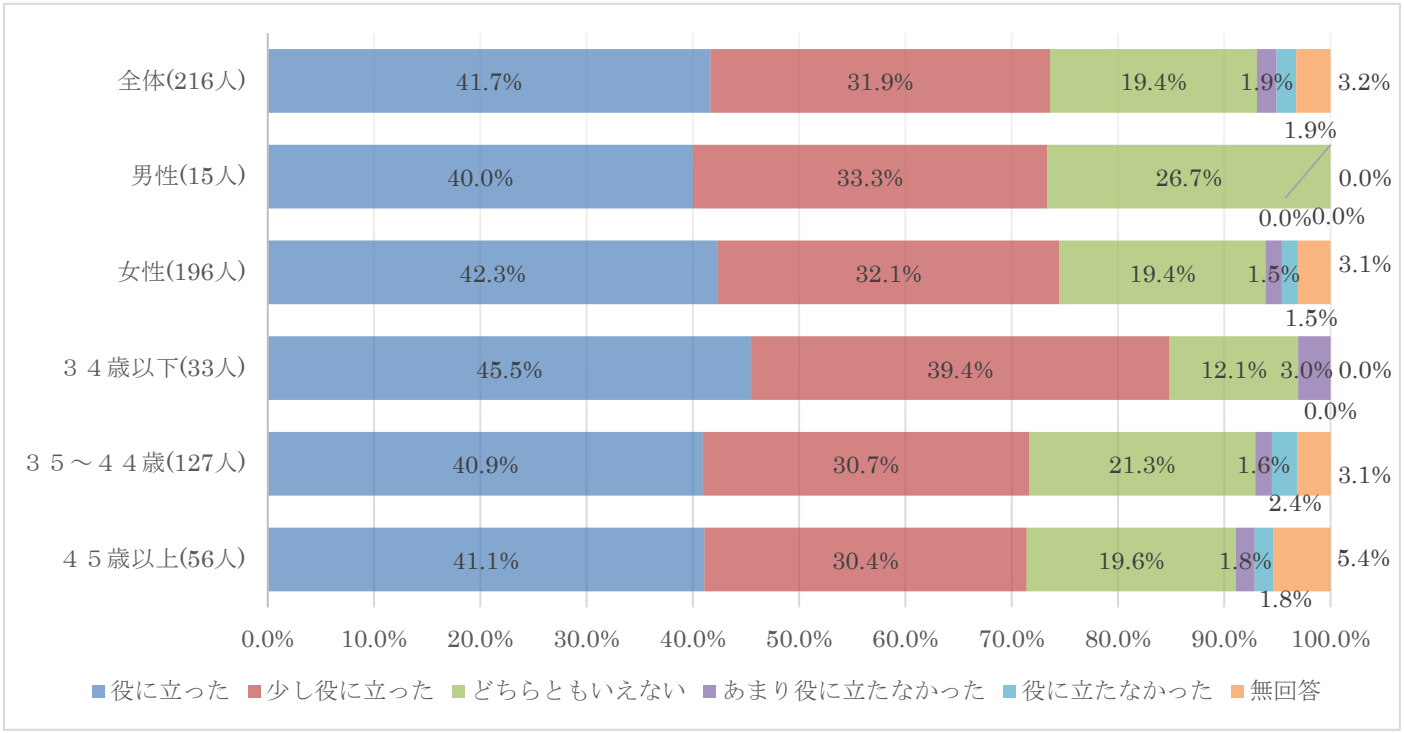
	保護者同士の交流	手遊び	絵本の読み聞かせ	体重測定	保健師による育児相談	助産師による育児相談	栄養士による栄養相談	歯科講座	健康運動指導士による運動講座	その他
全体(216人)	69.9%	25.9%	36.6%	39.4%	36.1%	20.4%	12.0%	10.6%	2.8%	5.6%
男性(15人)	73.3%	20.0%	53.3%	40.0%	20.0%	6.7%	6.7%	20.0%	0.0%	0.0%
女性(196人)	69.9%	27.0%	36.2%	38.3%	37.2%	20.4%	12.2%	9.7%	3.1%	6.1%


全体(216人)
３４歳以下(33人)
３５～４４歳(127人)
４５歳以上(56人)
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
50.0%
60.0%
70.0%
80.0%
90.0%
100.0%
保護者同士の交流
69.9%
63.6%
69.3%
75.0%
手遊び
25.9%
21.2%
25.2%
30.4%
絵本の読み聞かせ
36.6%
39.4%
33.9%
41.1%
体重測定
39.4%
39.4%
41.7%
33.9%
保健師による育児相談
36.1%
36.4%
36.2%
35.7%
助産師による育児相談
20.4%
6.1%
23.6%
21.4%
栄養士による栄養相談
12.0%
12.1%
13.4%
8.9%
歯科講座
10.6%
9.1%
12.6%
7.1%
健康運動指導士による運動講座
2.8%
0.0%
3.1%
3.6%
その他
5.6%
3.0%
7.1%
3.6%

【問27】問 25「1参加したことがある」を選ばれた方にお聞きします。
親子サロンでの保健師や助産師による育児相談や栄養相談、健康講座（運動講座・歯科講座）は子育てや健康づくりに役立ちましたか。（1つだけ）

- 「役に立った+少し役に立った」が73.6%となりました。
- 年代別に見ると『34歳以下』で、「役に立った+少し役に立った」が84.8%と他の年代より高い結果となりました。

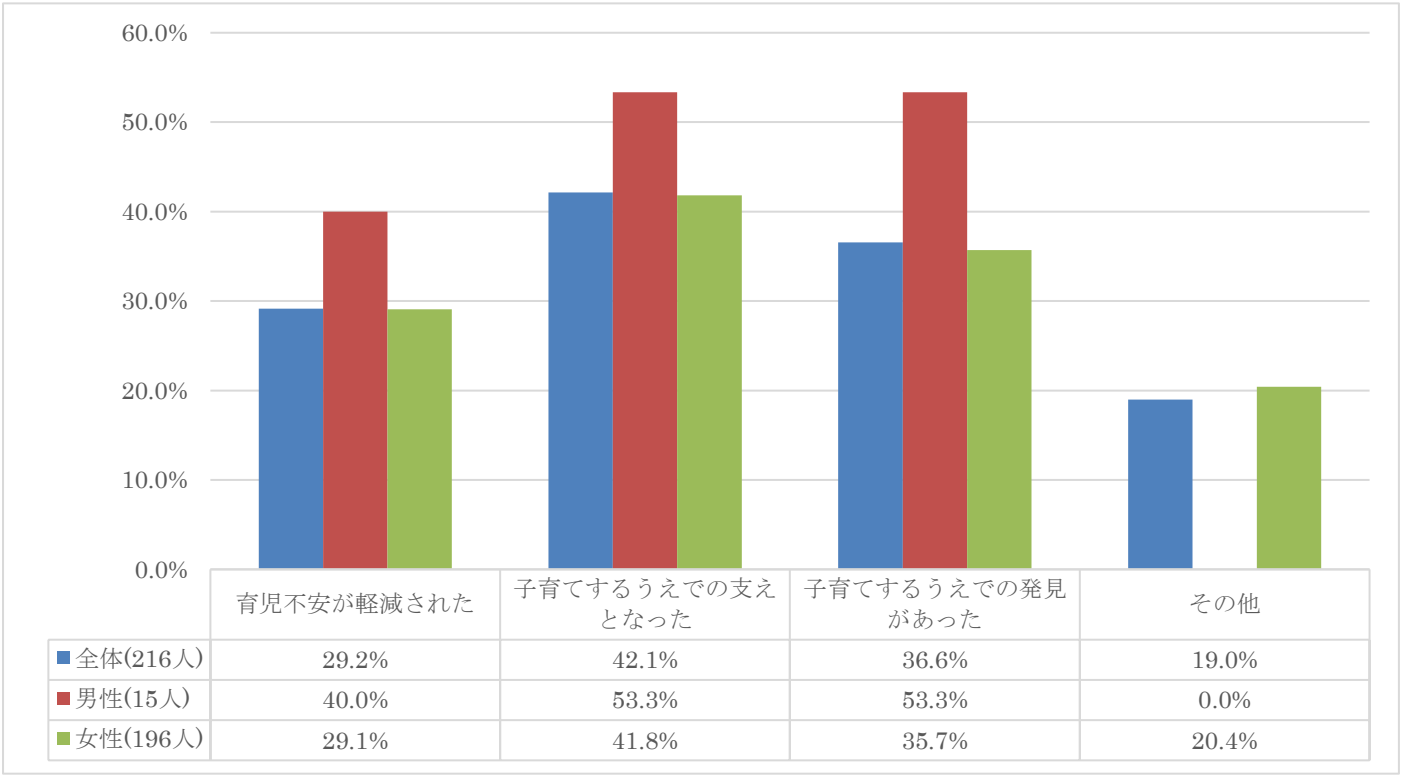
項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	役に立った	90	41.7%	6	83
2	少し役に立った	69	31.9%	5	63
3	どちらともいえない	42	19.4%	4	38
4	あまり役に立たなかった	4	1.9%	0	3
5	役に立たなかった	4	1.9%	0	3
	無回答	7	3.2%	0	6
全体		216	-	15	196



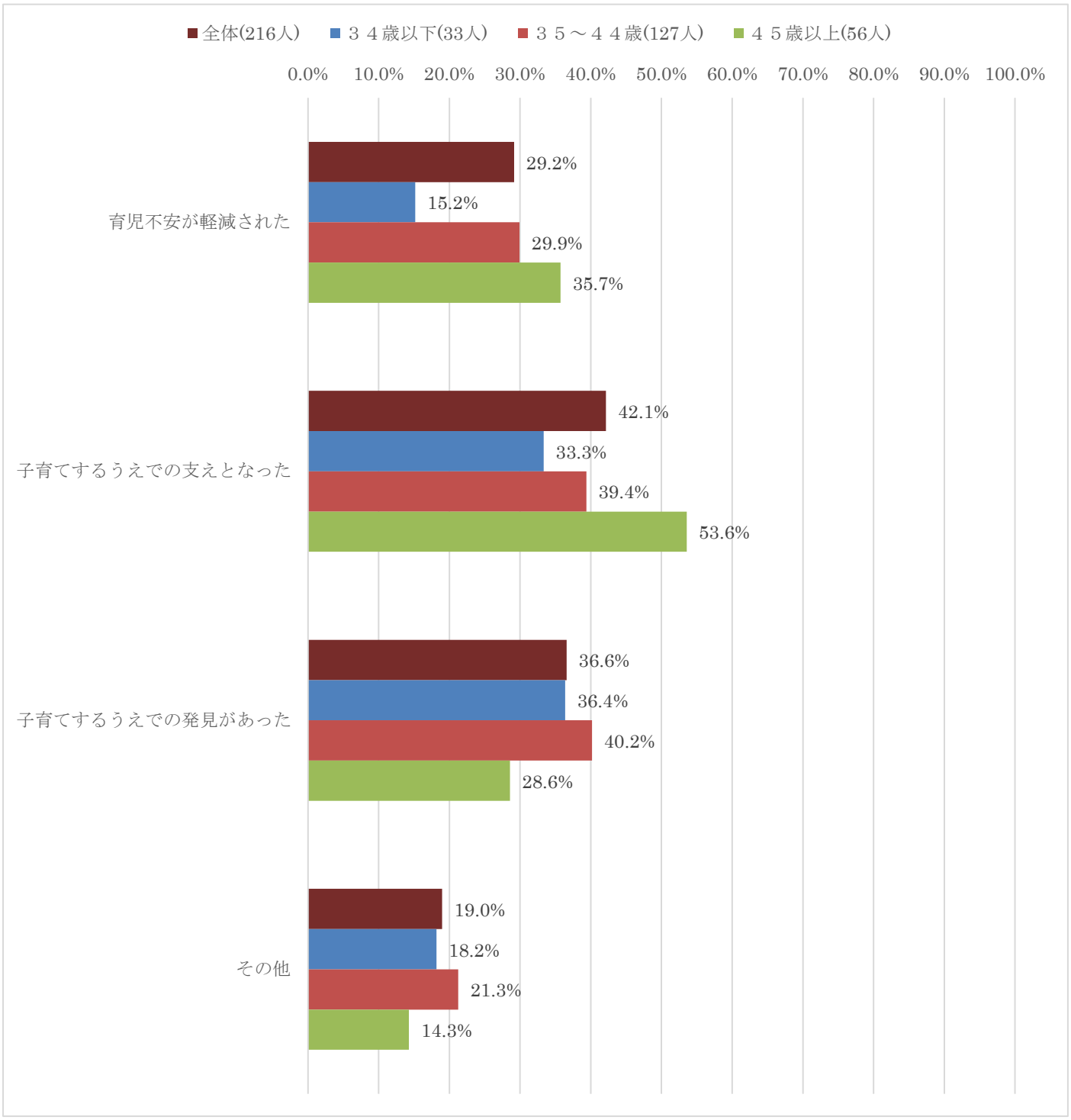
【問28】問 25 で「1参加したことがある」を選ばれた方にお聞きします。
親子サロンに参加されて、いかがでしたでしょうか。(○はいくつでも)

- 「子育てするうえでの支えとなった」が42.1%、「子育てをするうえでの発見があった」が36.6%、「育児不安」が軽減されたが29.2%となりました。
- 男女別に見ると、『男性』では「子育てをするうえでの発見があった」と「子育てするうえでの支えとなった」が最も多く、『女性』では「子育てするうえでの支えとなった」が41.8%となりました。
- 年代別に見ると「子育てするうえでの発見があった」が『34歳以下』は36.4%、『35歳～44歳』は40.2%となりました。一方、『45歳以上』では「子育てするうえでの支えとなった」が53.6%となりました。

項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	育児不安が軽減された	63	29.2%	6	57
2	子育てするうえでの支えとなった	91	42.1%	8	82
3	子育てするうえでの発見があった	79	36.6%	8	70
4	その他	41	19.0%	0	40
	無回答	8	3.7%	0	6
全体		216	-	15	196



	育児不安が軽減された	子育てするうえでの支えとなった	子育てするうえでの発見があった	その他
全体(216人)	29.2%	42.1%	36.6%	19.0%
男性(15人)	40.0%	53.3%	53.3%	0.0%
女性(196人)	29.1%	41.8%	35.7%	20.4%

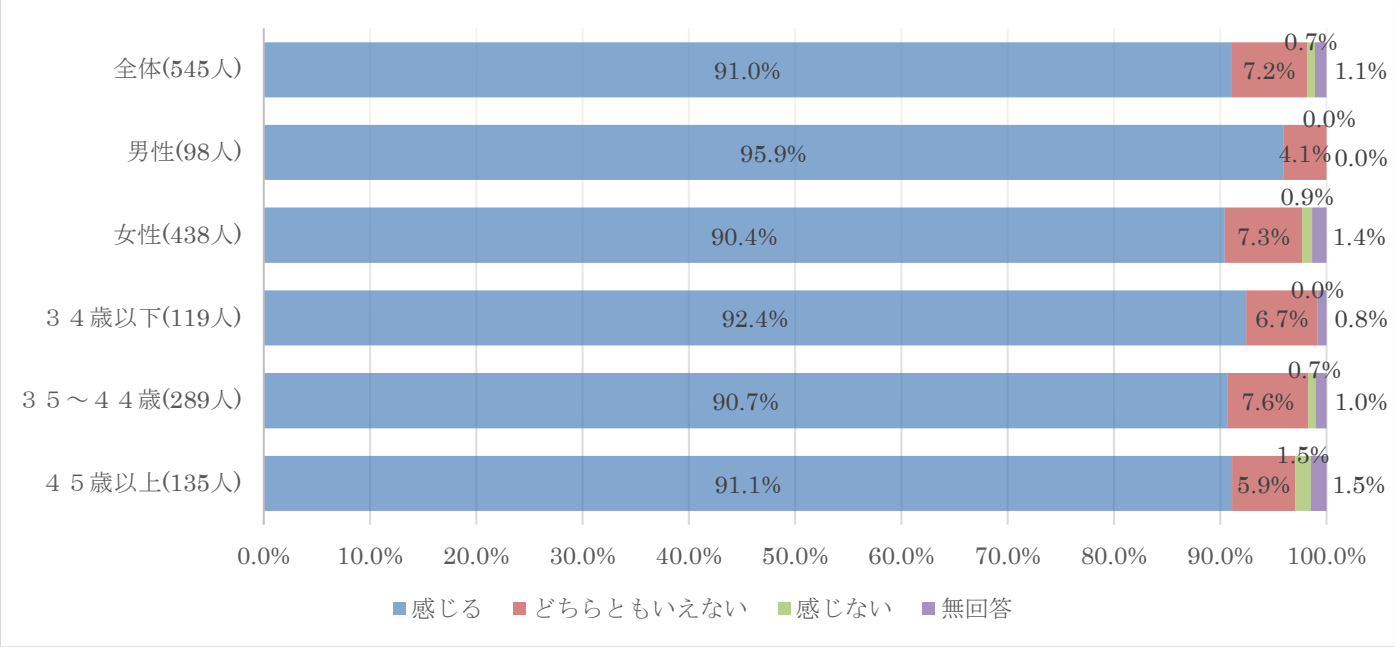

全体(216人)
３４歳以下(33人)
３５～４４歳(127人)
４５歳以上(56人)
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
50.0%
60.0%
70.0%
80.0%
90.0%
100.0%
育児不安が軽減された
29.2%
15.2%
29.9%
35.7%
子育てするうえでの支えとなった
42.1%
33.3%
39.4%
53.6%
子育てするうえでの発見があった
36.6%
36.4%
40.2%
28.6%
その他
19.0%
18.2%
21.3%
14.3%

７．子育てについて

【問29】子育ての中で楽しさを感じることはありますか。(1つだけ)

- 「感じる」が91.0%となりました。
- 男女別に見ると、『男性』で「感じる」が95.9%、『女性』で「感じる」が90.4%となりました。
- 年代別に見ると、「感じる」と回答された割合に大きな差が見受けられない結果となりました。

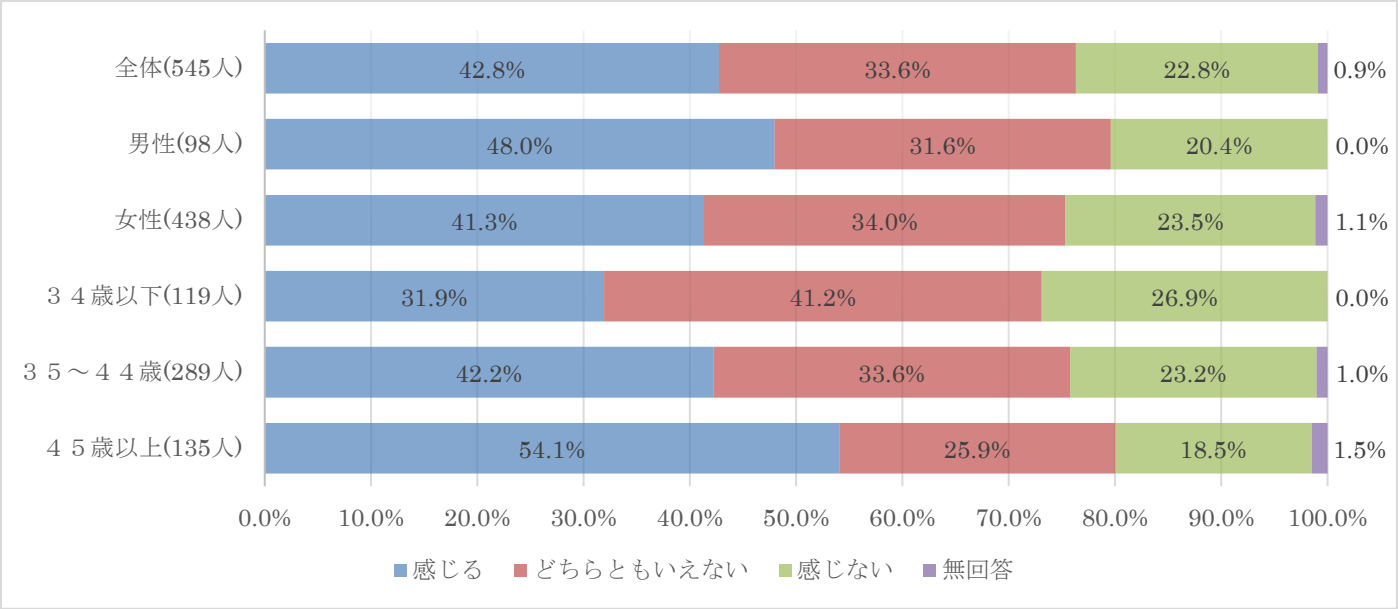
項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	感じる	496	91.0%	94	396
2	どちらともいえない	39	7.2%	4	32
3	感じない	4	0.7%	0	4
	無回答	6	1.1%	0	6
全体		545	-	98	438



【問30】日ごろ子育てに対する不安を感じていますか。(1つだけ)

- 「感じる」が 42.8%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が 33.6%となりました。
- 男女別に見ると、『男性』で「感じる」が 48.0%と『女性』より高くなっています。
- 年齢別に見ると、「感じる」回答された割合が『45歳以上』で54.1%と最も多く、次いで『35～44歳』が42.2%、『34歳以下』で31.9%となりました。

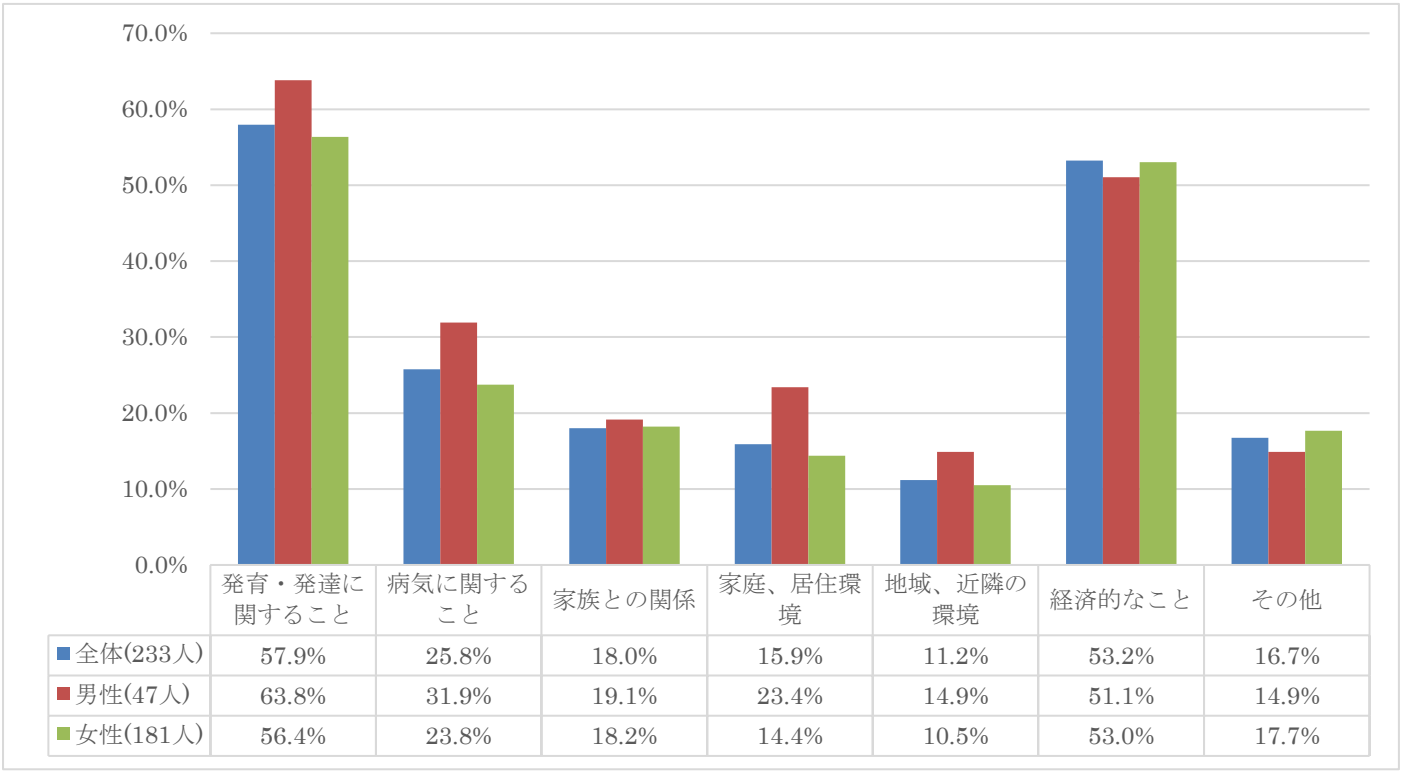
項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	感じる	233	42.8%	47	181
2	どちらともいえない	183	33.6%	31	149
3	感じない	124	22.8%	20	103
	無回答	5	0.9%	0	5
全体		545	-	98	438



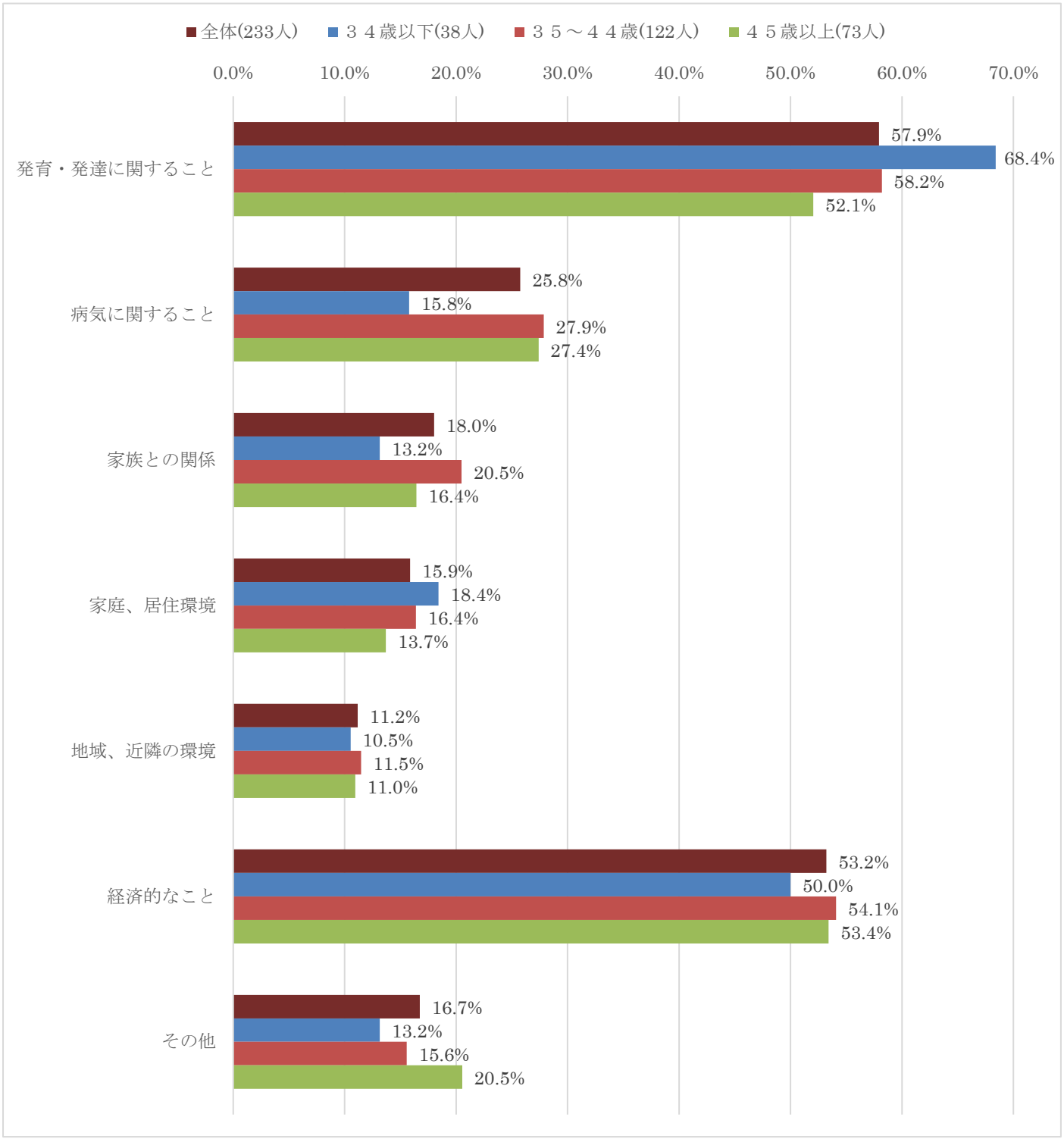
【問31】問 30 で「1感じる」を選ばれた方にお聞きします。
子育てをしている中で不安に感じている内容は、どのようなことですか。(○はいくつでも)

- 不安に感じている内容で最も多かった理由は「発育・発達に関すること」で57.9%、次いで「経済的なこと」が53.2%、「病気に関すること」が25.8%となりました。
- 男女別に見ると、『男性』、『女性』共に「発育・発達に関すること」を理由に不安を感じていると回答された割合が多い結果となりました。
- 年代別に見ると、「発育・発達に関すること」で『34歳以下』が68.4%、『35～44歳』が58.2%となりました。一方、「45歳以上」では「経済的なこと」が53.4%と最も多く、「発育・発達に関すること」が52.1%となりました。

項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	発育・発達に関すること	135	57.9%	30	102
2	病気に関すること	60	25.8%	15	43
3	家族との関係	42	18.0%	9	33
4	家庭、居住環境	37	15.9%	11	26
5	地域、近隣の環境	26	11.2%	7	19
6	経済的なこと	124	53.2%	24	96
7	その他	39	16.7%	7	32
	無回答	0	0.0%	0	0
全体		233	-	47	181



	発育・発達に関すること	病気に関すること	家族との関係	家庭、居住環境	地域、近隣の環境	経済的なこと	その他
全体(233人)	57.9%	25.8%	18.0%	15.9%	11.2%	53.2%	16.7%
男性(47人)	63.8%	31.9%	19.1%	23.4%	14.9%	51.1%	14.9%
女性(181人)	56.4%	23.8%	18.2%	14.4%	10.5%	53.0%	17.7%


全体(233人)
３４歳以下(38人)
３５～４４歳(122人)
４５歳以上(73人)
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
50.0%
60.0%
70.0%
発育・発達に関すること
57.9%
68.4%
58.2%
52.1%
病気に関すること
25.8%
15.8%
27.9%
27.4%
家族との関係
18.0%
13.2%
20.5%
16.4%
家庭、居住環境
15.9%
18.4%
16.4%
13.7%
地域、近隣の環境
11.2%
10.5%
11.5%
11.0%
経済的なこと
53.2%
50.0%
54.1%
53.4%
その他
16.7%
13.2%
15.6%
20.5%

その他の理由（一部抜粋）

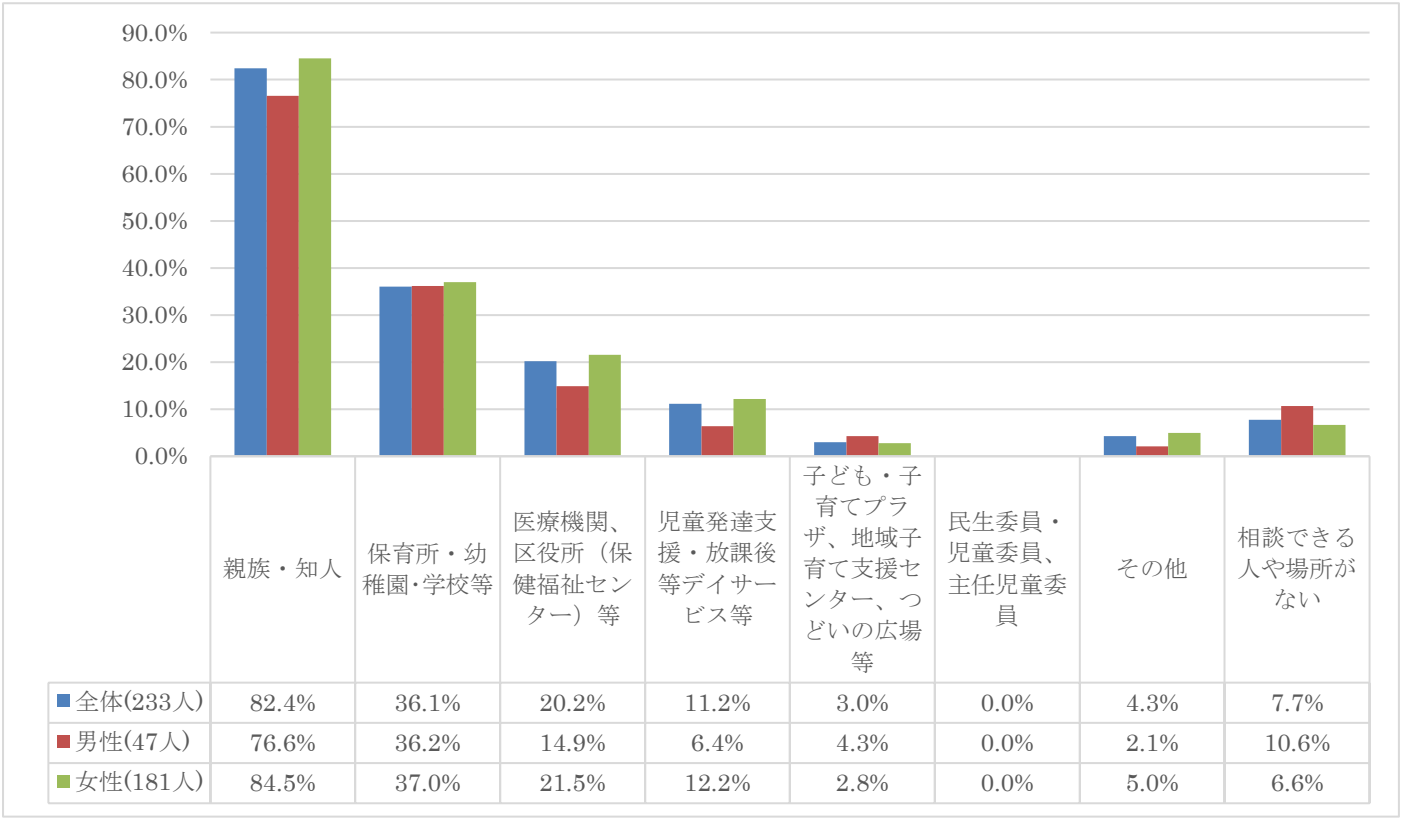
内容
学力に関すること
友人などの人間関係
子どもとのコミュニケーションのとり方
教育
進路
中学生の相談する場が無い
大人で常識の無い人間が多すぎるため、こどもに影響しないか不安である
育児でイライラしてしまう
SNS 等の教育、犯罪回避の教育
偏食がひどい、物事の良し悪しの伝え方
先の見えにくい世の中なので
学校
学校の先生が少ないこと
漠然とした不安がある
反抗期、思春期
保育園の空きが無い
習い事

【問32】問 30 で「1感じる」を選ばれた方にお聞きします。

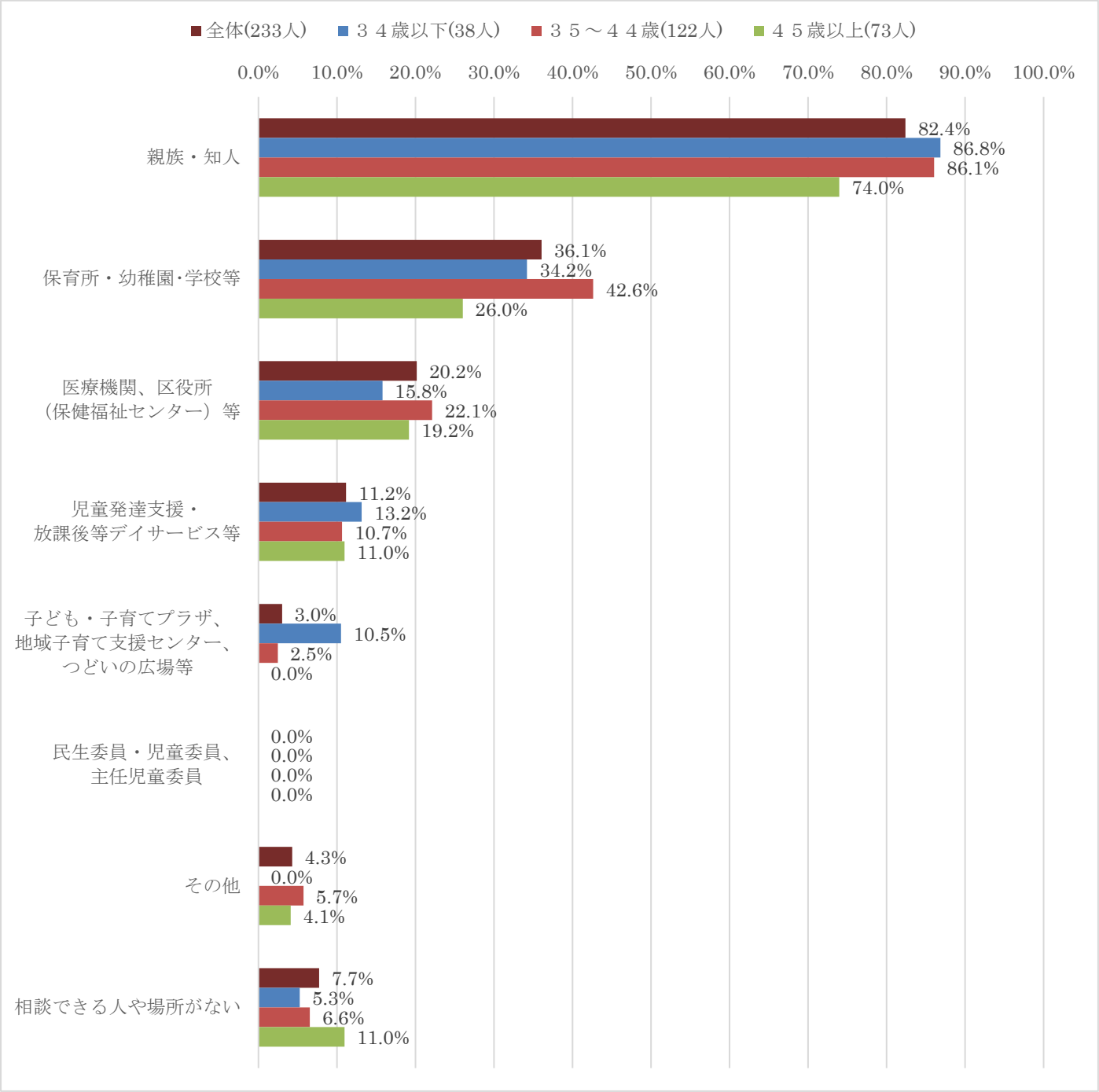
子育てに不安を感じたときに誰(どこ)に相談しますか。(1～7の場合○はいくつでも、8の場合○は1つだけ)

- 「親族・知人」が82.4%と最も多く、次いで「保育所・幼稚園・学校等」が36.1%、「医療機関、区役所(保健福祉センター)等」が20.2%となりました。
- 男女別に見ると、『女性』で「親族・知人」が84.5%と男性よりも高い結果となりました。
- 年代別に見ると、「親族・知人」と回答された割合が『34歳以下』が86.8%、『35～44歳』が86.1%に対し、『45歳以上』は74.0%と他の年代より低くなっています。

	項目	回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	親族・知人	192	82.4%	36	153
2	保育所・幼稚園・学校等	84	36.1%	17	67
3	医療機関、区役所(保健福祉センター)等	47	20.2%	7	39
4	児童発達支援・放課後等デイサービス等	26	11.2%	3	22
5	子ども・子育てプラザ、地域子育て支援センター、つどいの広場等	7	3.0%	2	5
6	民生委員・児童委員、主任児童委員	0	0.0%	0	0
7	その他	10	4.3%	1	9
8	相談できる人や場所がない	18	7.7%	5	12
	無回答	3	1.3%	1	2
全体		233	-	47	181



	親族・知人	保育所・幼稚園・学校等	医療機関、区役所（保健福祉センター）等	児童発達支援・放課後等デイサービス等	子ども・子育てプラザ、地域子育て支援センター、つどいの広場等	民生委員・児童委員、主任児童委員	その他	相談できる人や場所がない
全体(233人)	82.4%	36.1%	20.2%	11.2%	3.0%	0.0%	4.3%	7.7%
男性(47人)	76.6%	36.2%	14.9%	6.4%	4.3%	0.0%	2.1%	10.6%
女性(181人)	84.5%	37.0%	21.5%	12.2%	2.8%	0.0%	5.0%	6.6%



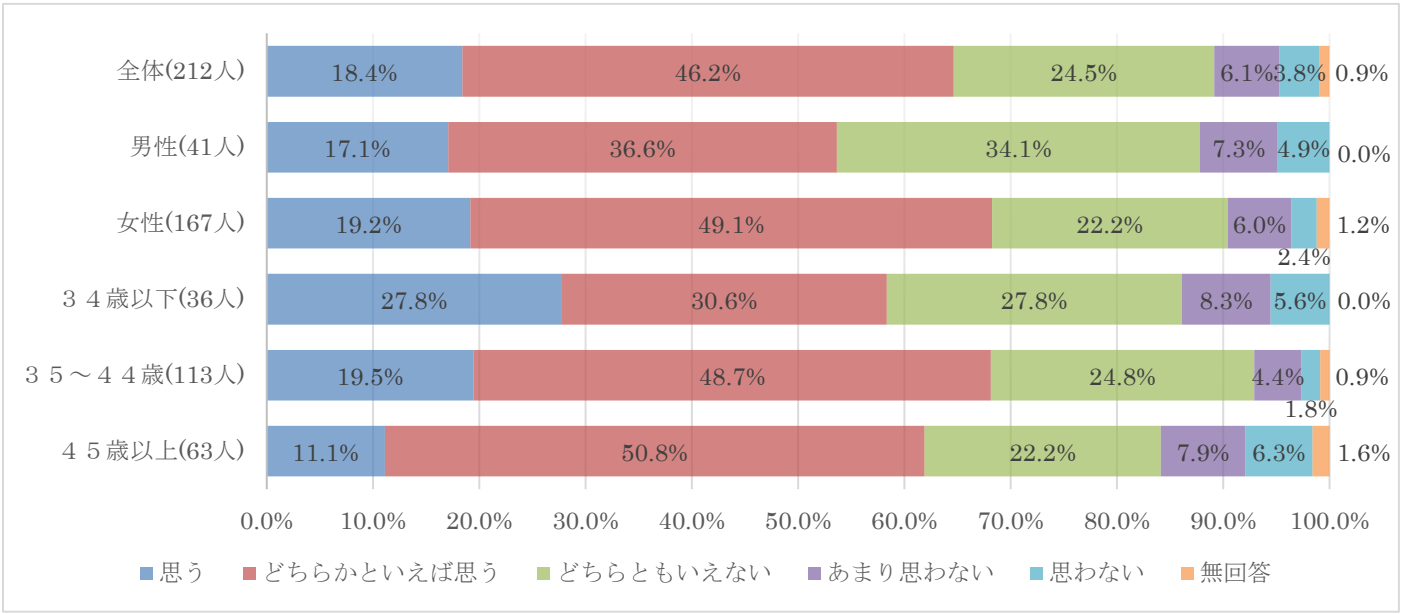
その他の理由（一部抜粋）

内容
相談しない
基本的には誰にも言わない
塾の先生
本やインターネットで調べる
病院

【問33】問 32 で選択肢「1～7」を選ばれた方にお聞きします。
子育てについて相談したら、不安は解消（軽減）されましたか。（1つだけ）

- 不安が軽減されたと「思う+どちらかといえば思う」が64.6%となりました。
- 男女別に見ると、『女性』で「思う+どちらかといえば思う」が68.3%と『男性』より高い結果となりました。
- 年代別に見ると、「思う+どちらかといえば思う」と回答された割合は『35～44歳』が68.1%と最も多く、次いで『45歳以上』が61.9%、『34歳以下』が58.3%となりました。

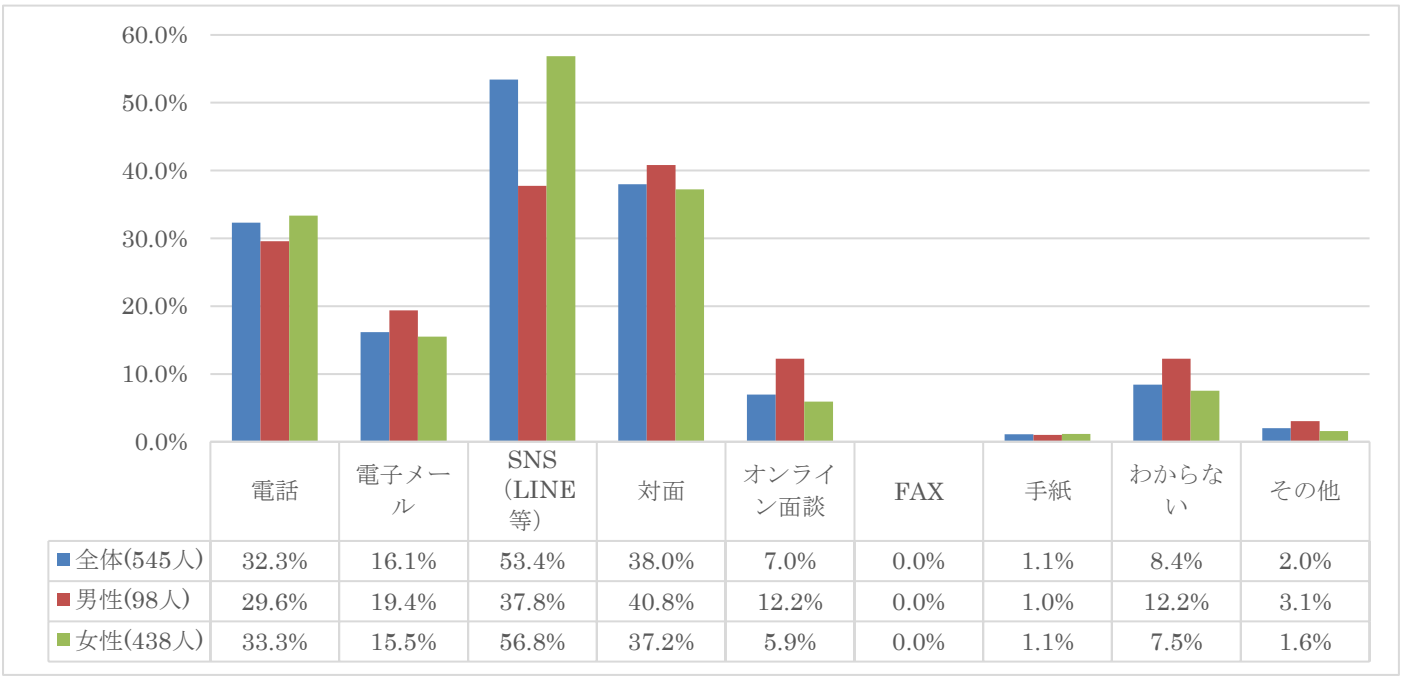
項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	思う	39	18.4%	7	32
2	どちらかといえば思う	98	46.2%	15	82
3	どちらともいえない	52	24.5%	14	37
4	あまり思わない	13	6.1%	3	10
5	思わない	8	3.8%	2	4
	無回答	2	0.9%	0	2
全体		212	-	41	167



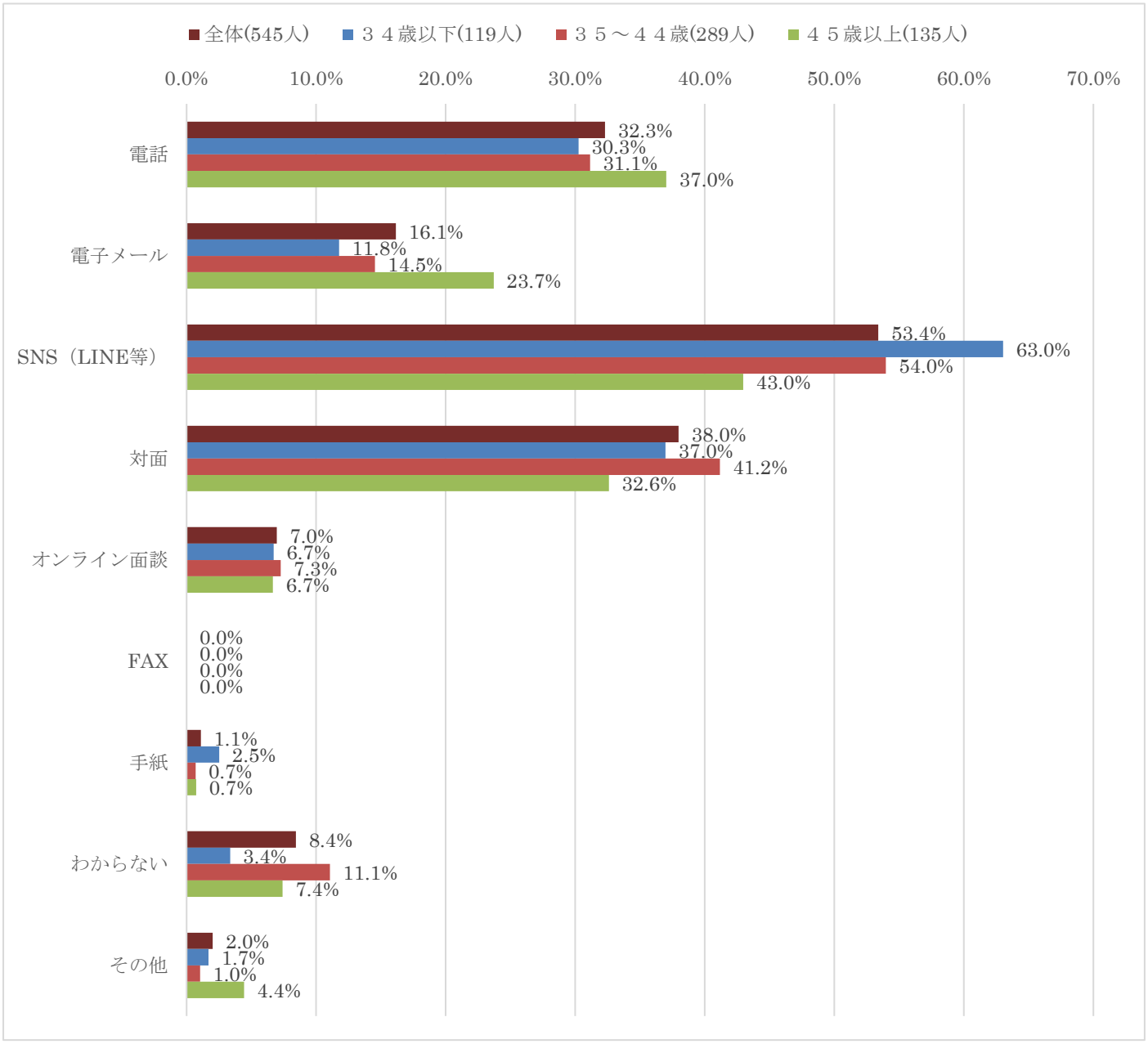
【問34】子育てについて悩みを感じた時に、気軽に相談しやすい方法はどれですか。(○はいくつでも)

- 「SNS(LINE 等)」が53.4%と最も多く、次いで「対面」が38.0%、「電話」が32.3%となりました。
- その他で見受けられた回答としては、広場やサロンがあれば良いなどの意見がありました。
- 男女別に見ると、『男性』は「対面」が40.8%と最も多く、『女性』は「SNS(LINE)等」が56.8%と最も多い結果となりました。
- 年代別に見ると、全年代共通で「SNS(LINE 等)」が最も多い結果となりました。次いで「対面」では『35～44歳』が41.2%、『34歳以下』が37.0%となりました。

項目		回答数	比率	男女別	
				男性	女性
1	電話	176	32.3%	29	146
2	電子メール	88	16.1%	19	68
3	SNS(LINE 等)	291	53.4%	37	249
4	対面	207	38.0%	40	163
5	オンライン面談	38	7.0%	12	26
6	FAX	0	0.0%	0	0
7	手紙	6	1.1%	1	5
8	わからない	46	8.4%	12	33
9	その他	11	2.0%	3	7
	無回答	11	2.0%	2	8
全体		545	-	98	438



	電話	電子メール	SNS(LINE等)	対面	オンライン面談	FAX	手紙	わからない	その他
全体(545人)	32.3%	16.1%	53.4%	38.0%	7.0%	0.0%	1.1%	8.4%	2.0%
男性(98人)	29.6%	19.4%	37.8%	40.8%	12.2%	0.0%	1.0%	12.2%	3.1%
女性(438人)	33.3%	15.5%	56.8%	37.2%	5.9%	0.0%	1.1%	7.5%	1.6%



その他の理由（一部抜粋）

内容
ウェブサイトからのフォーム入力
広場やサロン、交流会、講座など
まずはLINEなどのSNS、その後、電話か対面で相談したい（実際そうしました）気軽に相談して今につながっています